

滿家

寅丸、世良田右近太郎
從五位下、式部大丞、但馬守、(註略)

經家

竹丸、世良田求馬、
正六位下、隼人佐、

某

石丸、世良田左馬允、亦号新田内藏允、

經德

(註略)

宗基

五郎太郎、新田彦二郎、

(註略)

女子

(註略)

某

(註略)

義業

竹二郎、采女、左衛門、
(註略)

女子

女子

宗業

(註略)

義風

小太郎、新田右近太郎、母堀河前大納言源康光卿女、(中略)延寶六年四月二日、父呼而曰、我先祖ヨリ沈
論之名ヲ繼而於今者繼乏シク從者養ニ方使無シ、殊ニ年老已衰タリ、武藏國淺草觀音別當智樂院者我從弟也、兼
テ羽書ヲ以通シ置ク、汝此沙門方ニ住、身之安否ヲ可極与書藉器物ヲ附屬ス、依之同十六日武州江戸ニ下リ智樂
院ニ居住ス、此頃將軍殿有院殿家綱公之長臣酒井雅樂頭忠清智樂院与睦ク時々來駕セリ、別當書籍之事ヲ密談ス
林也、或時我ヲ令レ謁ニ忠清、其後延寶八年三月二十四日忠清密使トシテ家人高須隼人ヲ以右近太郎書籍明朝智樂
院可持參之由也、仍翌朝是持參ス、忠清曰、將軍可在上覽由也、ト云テ請取別當ヲ返ス、同四月二日忠清亦別當
ヲ招系圖入上覽之所虫綴リ紙損シ文字消不レ成ニ分明間、書改可差上思召在レ之間歸京爲レ致問敷候、此旨上意也与
申渡ス、依之他筆難レ成自身血筆ヲ以認レ之、漸四月十九日頃出來スト云レ去ル十一月之比ヨリ家綱公御不例、次
第二重ク終ニ延寶八年五月八日、御佗界、忠清ニハ職ヲ辭ス、於レ爰其緣絶タリ、然所ニ延寶九年四月五日、父
義業病死、善林寺ニ葬、南龍院道勢黃譽鐵山居士ト号ス、之由智樂院へ告來ル矣、
將軍家綱公御舍弟常憲院殿綱吉公相續シ給、近臣ニ柳澤彌太郎ト云士在、元卑賤之時ヨリ入魂シテ互ニ睦、此
故ニ系圖器物々一覽シ能知シリ序ヲ以達上聞与綱吉、後出羽守与改、産祿賜三三萬石、此時實太刀ヲ雖レ爲所望
賣買ノ沙汰ニ單ニヨリ其言ヲ賤トシ不相送、依之鬱陶ヲ合ニヨリ通路絶タリ、

(註) 右饅阿寺新田足利兩家系圖ハ長サ約十八間、文字ハ終始一筆ナリ。前後兩編ニ分レ前編ハ清和天皇ニ始マリ足利系ハ義昭マデ、新田系ハ義宗マデヲ載セ、新田系ハ義重以外ハ傍註簡略ナリ。而シテ後編ニ再ビ義重以後ノ新田系ヲ載セ、傍註詳細ニシテ、元祿頃ノ義風ニ終ル。文字ニ古體多キヲ見レバ或ハ前編及後編ノ初メノ部分ハ古キ原本アリシヲ元祿頃義風ノ寫セシモノカ。サレド松蔭私語第一ニ、然共今當家(新田氏)一統也、天下之一家、都鄙之一老也、雖不肖不可下下位、於不審之仁、饅阿寺之系圖可見之也トアリテ、岩松ノ家系ヲ詳細ニ載セタル趣ニ記セドモ、右現存系圖ニハ岩松系經家以後ヲ載セズ。サレバ現存系圖ハ松蔭私語ノ指セルモノトハ異ル事眞ニ惜シムベシ。

五、新田實城應永記

(殘欠) (新田郡別所圓福寺所藏)

(上欠)

三男を義國陸奥三郎殿と申、八幡殿の御世繼には陸奥四郎殿とおほし定て、相模國鎌倉庄を譲り侍り給へり、此鎌倉の庄は上總介平直方朝臣の領知して住侍りけるが、入道將軍殿の相模守に補任せられ下向し給ふ時にぞ直方朝臣の聲にとり進られしに、八幡殿そのほか加茂殿、新羅殿、壬生殿を備けたまひしより傳領し給ふとかや、都の六條堀川に居給ひしかば六條の判官殿と申、陸奥三郎殿には上野國新田の庄を御讓傳領したまふ、久安のころにや檢非違使判官左衛門尉式部允たりし時、參陣の路次にて大炊御門右府實能と禮式を論じ給ふよりこと起りて、源氏重代の荒武者共蜂起して、大炊御門の本所におしよせ放火狼藉しける犯科に伏せられ、下野國足利庄大野郷別墅に下向したまひける、足利の大夫入道殿と申、此足利の別墅と申は、康和のころほひ佐竹野心につけて公方より退治せらるべしとて、義國追討使の宣旨を蒙り、東國へ進發のつゝ、足利庄司太郎大夫藤原の基綱の館に着たまひしを、聲にとり侍りしゆへこゝに別墅をかまへける

とかや、

此大夫の入道殿御子おはします、兄を義重新田を傳領し給ふに、ひたの庄司式部大夫殿と申、新田一流の元祖として大新田殿義貞公には七世の御先祖にて侍る、弟をば義康、足利蒲前大野郷別墅を傳領し給ひて足利の庄司治部大輔殿と申、足利一流の元祖として大御所尊氏公より當公方家室町御所、また今のかまくら殿御先祖なり、さればに、ひたの大夫入道殿より、新田正統血脉相承はに、ひたの藏人大大夫義兼、藏人大夫義房、又太郎政義、小太郎政氏、六郎基氏、六郎太郎朝氏、右衛門督義貞朝臣、左近衛中將義宗朝臣、六郎貞氏と連續し給へり、但小太郎政氏を員へず、又義宗朝臣をも員へず、直に義貞公より貞氏公へ正脈をつたへて九世とすべし。

新田の大夫入道殿に御子あまたあり、一男に、ひたの太郎義俊、これは家督をうけられず、其子を里見太郎伊賀前司義成と云ける、里見一流の小宗領にて侍る、次男新田二郎義兼、これを正統嫡家としてに、ひたの太郎と稱、藏人大夫殿なり、三男に、ひたの三郎義範、山名伊豆守と號す、四男に、ひたの四郎よし季、徳川と號す、後にゆへありて當庄半分の惣領と稱する事侍り、その巨細は後段に記べし。その子

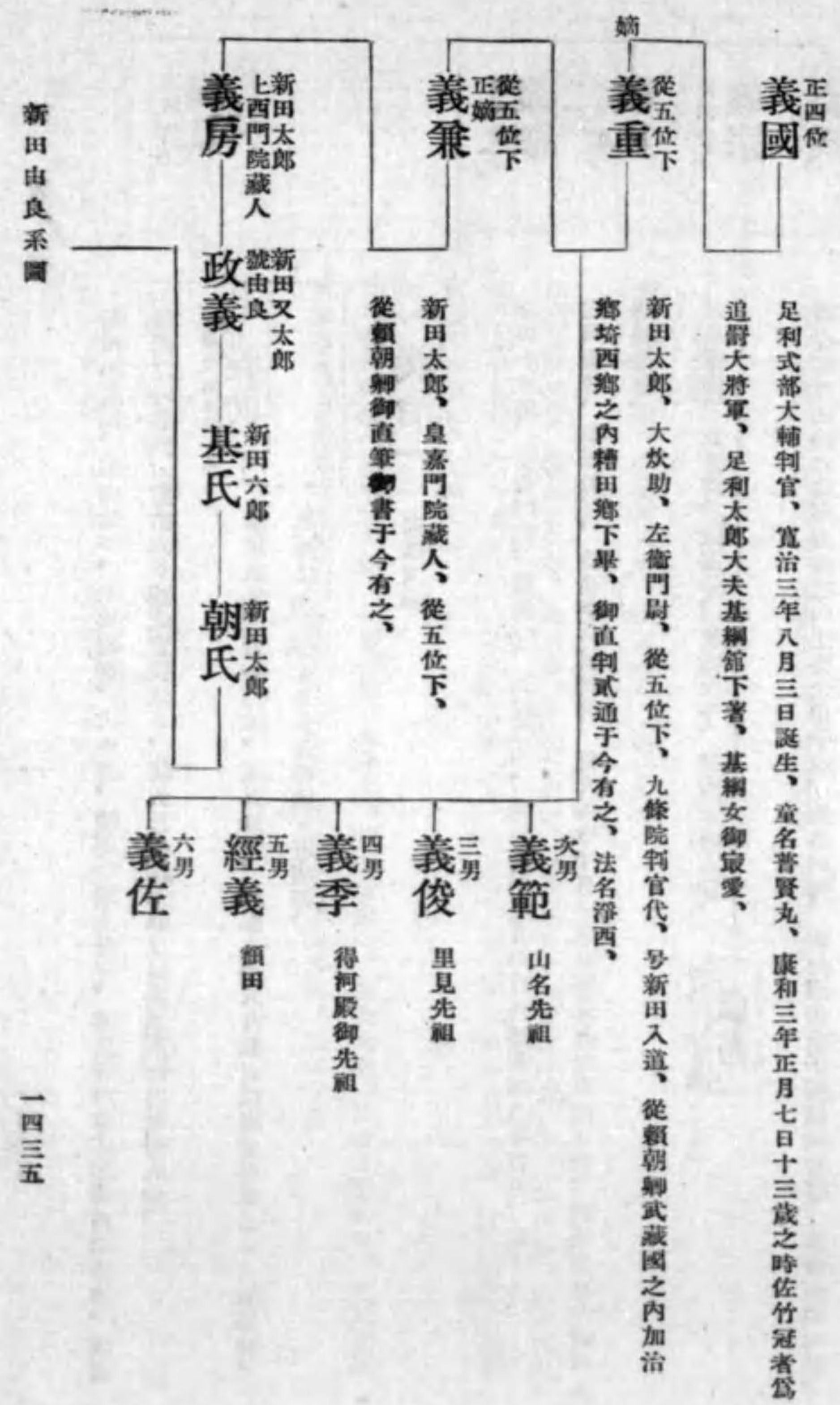
を新田四郎太郎下野前司頼有、世良田彌四郎、三河前司頼氏と兩流分けり、江田も三河前司末なり、五男新田五郎義經、(無義ノ誤カ)額田と號、六男新田六郎義益、七男僧刑部卿律師昌學也、女子は惡源太よし平に嫁し侍る、猶子に、ひたの四郎兵衛殿義隆、院の檢非違使判官代に侍り、よし光には曾孫平賀兵衛尉盛義の四男なり。

寛元のころにや、又太郎政義、上野國役として帝都を守護侍る事あり、俄に素懷を遂んとて仁和寺の御室へ參詣し、落飾受戒し、ひたの新發意阿義と名乗りけり、斯る式をば豫關東へ望申さず、左右なく自由の所行なりとて、去延應の評定判誠にまかせらるべかりけるを他に異なる父祖の例を、思召給によつて、宥恕の沙汰を経られ、一族近親を以て代官として、よし季と遠江太郎時兼の老母とに、當庄領家職半分宛領たまひける、各半分の惣領といふは此比也、さてこそ世良田郷の居館は領家檢斷所なれば退去し、由良郷別墅に蟄居したまふ、由良の入道阿義禪門と申、其後此別墅に眞言修法の梵宇を建て、圓福寺と號、高野山中院の靜辨檢校の法嗣靜毫阿遮梨を招請して、現世後生の祈禱師とせり、千手觀自在菩薩を安置し、不動五大尊をも安置す、田園若干を寄附せられ侍り、圓福寺殿と申は此人なり、抑圓福寺殿の父祖よし兼よし房の藏人に補せられて、院の昇殿許し侍りければ

その例を存知て望給へりけるに、帝都警衛の奉行六波羅よりおさへ吹舉せられ
たりけり、さらば一族門葉の例とて、廷尉を望申さしめけるも許容なかりければ
俄に遁世せられけりとかや、(下欠)

六、源氏新田由良系圖 (由良家) (東京、品川、大井、南濱川、 舊藏) (一七二〇、安川繁之氏所藏)

(前略)



新田由良系圖

義貞 正四位下

新田小太郎、正四位下、左兵衛督、左中將、播磨守兼上野守、越後參河遠江相模武藏守等、西國蜂記之時進發、爲拾六ヶ國之官領云々、延元三年閏七月二日於越前國打死卅九歲、

(附註ニ「不及寫トアリ」)

脇屋次郎、右衛門佐、正五位下、元弘三年五月義貞俱鎌倉進軍云々、刑部卿、興國二庚辰年五月五日四國々府病死、

義治 (附註ニ「不及寫トアリ」) 式部大輔

義顯 從五位下

新田小太郎、左衛門佐、越後守、從五位下、延元元年三月六日於越前國金崎打死、歲十八、

義興 正五位下

左兵衛佐、正五位下、童名新田德壽丸、延文四年十月十三日於武州矢口渡自害、彼邊崇神社新田大明神是也、

義宗 從四位下

左兵衛佐、左少將、武藏守、從四位下、昇殿于時六歲、

(附註ニ「不及寫トアリ」) 貞方

貞氏

義貞打死之時六歲藏身遊行六之寮之弟子成、號良阿彌、其後還俗家子橫瀨氏女娶、號橫瀨新六郎、法名良道、家傳記曰、貞氏拾九歲迄、形變出家、令諸國流行、越後國隱身、任運過日給也、在時貞氏、移於居生國上野新田給之處、往時乳母、不意令參會、見此僧驚然云、此我(猶)襍之内、以乳汁奉爲養育之人、不當在疑慮思、問其姓名、雖然其時之天下權、依爲足利、恐其威而終不及謂實名、既欲退去之處、彼女止袂袖歎息、此時不得止而、供及落淚、終被爲實顯、彼女不勝嘉祝、而其後以乳

貞治 母小野氏

母計策還俗、橫瀨近江守以息女妻之、日往時去孟春二日夜、漸睡眠暇、至庶民耕新春田夢、異哉是非常哀思、至圓福寺是語和尚、僧云寔目出度瑞祥夢也、如何書新田當新田讀、然則本領案堵瑞夢不可在疑云々、從此時初、於圓福寺、三町白幕、大中黑之旗仕立、再繼絕世、舉廢國治亂持危、從此當家業代以吉例、於圓福寺幕旗仕立者也、

貞國

長端 金龍寺開山大和尚

生國住所同前、橫瀨新六郎、後信濃守、法名良順

國繁

生國住所同前、橫瀨新六郎、雅樂頭、後號信濃守、武州高見原合戰之時抽粉骨、依在忠、古河公方成氏朝臣賜書、于今有之、又上杉長尾合戰之時、依在忠、從慈照院義政公御內書、于今有之、新撰菟玖波集作者、法名宗悅

景繁 母平氏

生國住所同前、橫瀨新六郎、左衛門佐、雅樂助、後號信濃守、其後業繁、又改成繁、云々、上州那波依致味方、古河言上從成氏朝臣御書于今有之、新撰菟玖波集作者、法名宗忠

國經

(下略)

七、新田由良正系圖

(群馬縣勢多郡三夜澤赤城神社 舊社家杉下氏所藏)

(前略)

額義嫡男 鎮守府將軍 陸奥守 左馬權頭

義家

母上野介平直方女 童名不動丸 又源太丸共言ト云

山城國石清水八幡宮寶殿ニ而元服ス仍号八幡太郎ト、鎮守府將軍任、猛將弓馬達人、十四歳之時父ニ隨奥州ニ下向、(以下二十三字墨刻ニテ書ス) 其砌下野國足利基綱ノ館旅宿基綱息女内通此子義國也。貞任兄弟戰夏九年、武衛家衝ト戰事三年、誅討終テ嘉承元 丙 七月四日依病氣剃髮ス、同三 戊 二月十八日卒、六十六歳、河碓通法寺葬

(略)

義國

從五位上 童名普賢丸

母中宮亮有綱女 足利式部太夫 賀茂介

十三歳ノ時凶徒退討之太將、久安六 庚 午 歳下野國足利別業下向、而仁平四 甲 戊 三月十六日剃髮、竟加賀入道號号是ナリ、久壽二 乙 亥 六月廿六日病死、爾今岩松邑青蓮寺西松木有之、後上野國新田ニ住、兩家之大祖也

(略)

義重

新田太郎冠者 大炊介

母上野介教基女 贈鎮守府將軍

式部太夫、住上野國新田山ニ、仁安年中石清水八幡宮岩松郷建立而不動ヲ安置ス、建仁 壬 戌 正月十四日卒、大光院方山上西大禪定門

季邦

足利冠者 早世

義康

從五位下 足利新大夫判官 武藏守 足利大祖 母信濃守有房女

義俊

新田太郎 高林太郎号 新田大新田 又里見太郎ト号ス里見祖 大炊介嫡男 當腹太郎ナリ

義成

里見伊賀守

義兼

新田次良 号太郎 大炊介 母豐嶋下野守源新廣女

義範

新田三郎 從從五位下 右馬助 号山名伊豆守 山名祖

義季

新田四郎 号得川四郎入道 法名榮勇 半分惣領云々 當將軍家大祖也

義經

得川五良 号頼田三郎 頼田祖

義益

新田小二郎

昌尊

女子

鎌倉住慈源太義平室

新田横瀬由良正系圖

義房

新田藏人太郎

女子

出山遠江守義純室 後岩松祖タリ

政義

新田由良太郎 由良ノ祖

覺義

覺居律師

政氏

新田又太郎 号由良太郎 母足利左馬頭義氏女

國氏

細谷太郎 細谷之祖

家氏

大館二郎 大館大祖 母同上

知信

三郎 下細谷ト号

信氏

谷島三郎 谷島祖 母同上

重氏

西谷九郎

助氏

蒲前法印 母同上

快義

安養寺律師 母平秀時女

小河僧正

母同上

惟氏

今井十郎

政朝

新田由良六郎 号二郎太郎 又号朝氏

義政

十郎三郎 實惟氏男 基氏養子

基氏

新田由良六良 母同上 法名源光

貞氏

安養寺七郎

人皇五十六世清和帝十六代後胤

新田由良小太良

義貞

左兵衛督 右衛門督 左近衛權中將 從三位 兼播磨守

征夷大將軍、元弘三以來惣大將軍、延元三^戌壬七月二日於越前足羽討死、壽三十九、金龍寺殿正二位贈亞相將 軍眞山了悟大禪定門、越前ニ而覺阿彌陀佛、贈官權大納言 贈正二位

義助

新田二郎 脇屋ト号 刑部卿 從三位 左衛門佐 兄義貞義兵之時、其始ハ義助カス、ムル處ナリ云、

恩賞ニ駿河國ヲ賜ル、後尊氏謀叛之時關東赴キ武功數度顯ス、義貞黒九城ニテ討死之後義助敗軍ノ士卒ヲ集メテ 総黒九城責落ス、曆應二^{己卯}五月伊豫國へ渡リ病死、於与州新田大明神ト崇ム

義顯

新田小太郎 越後守 左衛門佐 延元二^{丁丑}三月六日於越前金崎自害

義興

新田德壽丸 左衛門督 延文三^{戊辰}十月十日於武彘矢口渡傷害

義宗

新田國壽丸 正四位下 左近衛中將兼武藏守 於越後村松郷討死、四十二才 金龍寺殿正四品羽林大將軍大輔良活大禪門

貞方

兵部少輔 於相州傷害

容辻王丸

於越後村松出生ス

新田横瀬由良正系圖

九十七代光明院御宇 金山實城主始リ性ヲ横瀬号(性カ)

貞氏

延元年中金山城退轉以後金井之内吞嶺谷殿ノ入暫住坂中六良号、金井ノ内丸屋敷ト云處也永壽寺坂ノ上也、吞嶺
法律共、遊行十二世御弟子六寮御了阿彌号ス、後還俗シテ横瀬新六郎改、實城取立金山中興、悟叟良道大居士

貞俊

横瀬六郎 左馬助 信濃守 東今泉鹿嶋江隱居、文安元甲子十月朔日病死、曹源寺殿等林良齋大居士

貞國

横瀬六良左衛門尉 信濃守入道 金井郷隱居緣應寺建立、隱居跡五男相模守繁輝相續、長祿元丁丑十二月三日於
武州須賀討死、仍自京都公方慈照院義政公御追感御内書ヲ長子國繁ニ被下之其文ニ曰 父信濃入道討死并自被疵
被官人數輩手負或頼命ト云々、龜甲山緣應寺殿良順庵主

在室長端禪師 金龍寺

國繁 横瀬新六郎 信濃守入道 文明十五萩原江隱居
遠溪寺殿笑山宗悅庵主 長保二戊申五月十五日病死

貞勝

横瀬對馬守 今泉住 横瀬掃部助
決千良勝庵主 天文四乙未八月四日卒ス 曹源寺在 繁氏

繁輝

横瀬相模守 金井貞國隱居跡、相州太守、輝州宗光大居士 玉岩寺夏カ

繁國

相模守跡目 金井五郎ト号 承天宗察居士 永福寺カ
兄相模守爲ニ玉岩寺建カ 玉岩寺ハ緣應寺ノ夏カ

業繁

横瀬六良 後信濃守 靈雲寺殿義山宗忠大居士
永正八辛未八月八日卒ス 國經 泰國改横瀬六良 信濃守 上野守護ト云
白毫寺殿大榮宗功大禪定 大永二壬午二月廿二日病死

泰繁

新田横瀬六郎 後信濃守 上野國司ニ補任セラレ、時古河公方晴氏公工件之旨達、則被其得之赴御書有、又毛疵
鞍覆白余侍ヲ御免許之旨從高松院義晴公御内書有、申次大館左衛門佐晴光書狀有、天文十四乙巳九月九日野州王
於戰場討死、龍淨寺殿威嶽宗虎大居士

基繁

泉中務太輔 金山西城殿 泉伊豫守基國一子無之故養子家督令相續 山英良海居士

繁俊

泉伊與守 成繁從弟故天文年中矢田堀村ニ瑞岩寺建、本尊十一面觀音奉納運慶作 慶長二丁酉九月十
三日卒 瑞岩寺殿傑翁宗英大居士

成繁

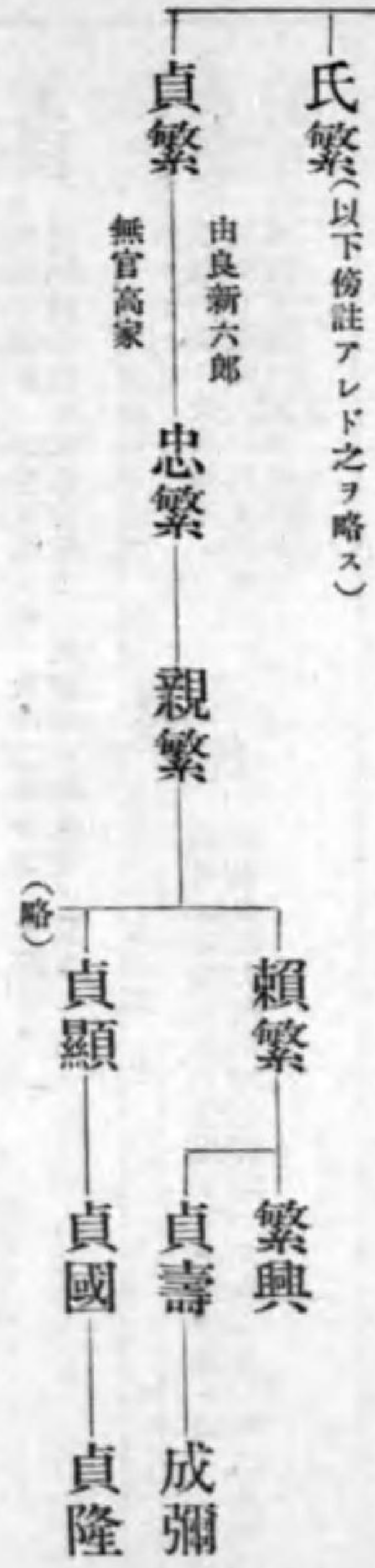
上野國名國司ニ補任セラレ、時古河公方成氏公工件ノ旨ヲ達、則被得其意御書有、且刑部大輔任セラレ、之砌由
新田横瀬由良正系圖

良ト号、源光院義輝公御内書有、御供衆ニ被召加之旨同御内書有、申次上野民部大輔忠量書狀有、天正元癸酉年
 建臣岩松治部大輔尙純同兵庫頭昌純金逆意金山城中騒動、是金山一亂ト言、翌年戊辰月朔日岩松父子金山於城外
 戦死、長樂ヲ以治、同年成繁桐生出馬、桐生大炊介同又二郎責亡、金山城長男國繁讓桐生居籠城隱居ス、其後由
 良郷別墅ニ移リ居、此故由良ト改御室山造營ス、開山靜庵上人、開基ハ由良散位源政義入道ナリ、天文六戊寅年
 月廿九日卒、鳳仙寺殿新田中山大居士

九代目(采書) (以下兼教新ラシ)
 國繁 由良新六郎 後号信濃守 新撰撰免波集作者

(略)

新田金山之實城主タリ、天正年中相州小田原北條ヨリ軍勢催促ニ付一族失揚(失カ)兵部大輔岩雲守純小金井四郎右衛門
 尉繁光惣大將トシテ小田原ニ馳向無程和ヲ以金山城ヲ退、故有テ天正十八庚寅年八月從將軍秀次當陸國河内郡足
 立郷ニ東賜庄卯宿エ御合力米高五千石ニテ被遣之則彼國エ曳移ル、同國同郡足立郷ニ瑞源寺ヲ建立ス、慶長十六
 年正月三日卒、法名瑞源寺殿奇山良太居士位、
 亥



(註) 右赤城神社舊社家杉下氏所藏新田横瀬 正系圖ハ全二十二葉ノ冊子ナリ、

書起シノ文句及ビ新田貞方ニ至ル迄ノ新田系ハ卷外長樂寺系圖新田岩松古
 系圖ニ通フ所多シ、横瀬系八代成繁マデハ筆致古様ヲ帶ビ、恐ラク慶長末年
 頃ノ書寫ナルベシ、九代國繁以下ハ享保以後ノ書寫ナリ、

八、筑後新田系圖

(前、筑後山門郡柳町四〇佐田則男氏藏
現、西宮市神樂町四〇佐田則男氏藏
史料編纂所々藏寫本ニヨル)

當家新田四郎義一より傳來る系圖ハ義景か代ニ肥前小田掃部入道不慮に夜討して義景か賣を焼時山名三郎太夫系圖卷物を取て出る時矢ニ中り死す、敵退散して後三郎太夫死骸の懷中か狀等ハ見出す、傳りたり系圖は此節失墜するもの也、卷長七寸斗にして水晶の軸紺地の錦の袋に入上ニ八幡大菩薩と白系にて縫たる薩乃字の下に薩一如此一文字を引て書たるものなり、義景か子孫繁昌の爲紺紙金泥の最勝王經を書木山寺ニ籠置其裏に系圖を書先祖の追善とし又子孫系圖斷絶の時是を用る爲としたるを沙門智全に命して是を寫し木山寺又筑後國山門郡藤尾山大忍寺兩所ニ籠置者也、
尔時永正十六己卯年九月十一日新田刑部太夫源朝臣義照五十歳、

右は奥書なり、義照より後ハ一色源兵衛尉信氏は書し、脇屋七郎兵衛氏光豊前乃長井ニ与して毛利ニ内通し大友宗麟か所領を押領せられ義をたの^(信股カ)ミ知行案堵したる禮ニ家ニ傳たる新田乃系圖と云て義信に送たる一卷有、皆相違なり、義照經の裏か書寫たるハ鳥飼にて水に入すたる、此時繪旨院宣其外古キ狀十餘通失るなり、此系圖ハ義照祈願所山門郡藤尾山大忍寺ニ籠をかれたるを義信乃代ニ信氏書寫し書續ものなり、木山寺ハ永録四年毛利氏か燒亡し退轉す、大忍寺ハ去年四月蒲地か放火にて退轉する故兩所に籠たる系圖も皆失墜して信氏寫置たる斗相殘るもの也、

于時元龜三年 壬申 歲二月吉日

大友家ヨリ新田乃系圖一覽所望之時も此系圖ハ出さす候、脇屋より來る系圖つかはされたるなり、
官位等之事相違多しといへ共本書之通書之、

筑後佐田新田系圖

貞純親王
清和天皇
代六の王子
桃園宮

經基
正四位
鎮守府將軍

滿仲
正四位
鎮守府將軍
兄弟餘多有

賴光
賴親
賴信
介力(鎮守府將軍)
從四位上總守府將軍
此外兄弟多し

賴義
正四位下
鎮守府將軍
兄弟多子孫有

義家
正四位下
鎮守府將軍
東海道之管領
兄弟有其子孫多

義親
義忠
義國
從五位下式部大夫上野國足利ニ住シ足利ヲ以家號トス此外兄弟多其子孫有

義重

從五位大炊助上野國新田乃庄ニ住して新田をもつて家號トス、義國か命ニ依て義康と相共ニ出陣乃時幕笠殿の紋いづれも同じき故軍兵乃ちなきに依て義重か云我嫡男なれハ二引兩を付るハ曾祖父頼義乃流をもつてなり、然に今新田足利と父子家號を改る時ハ義康ハ義國の名跡を繼て足利たるへし、紋も二引兩を用ゆへし、我嫡子なれハ一二を生するといふ本文に任て一引兩を紋とすへし、幕ハ一引兩二引兩遠して分明ならねハ大中黒にせんと云

義康

足利新判官此外兄弟有子孫

義範

山名伊豆守

義兼

從五位下
新田藏人頭

政義

新田太郎、病弱に依而出家す、其剃髮の事を録倉ニ告さる故二萬三千貫乃所領三分の二を沒收せらる、兄弟あり其子孫有

政氏

新田又五郎、實ハ政義か二男兄弟多其子孫有嫡男義滿早世故嫡子となる

義季

德川三郎
此外兄弟多
子孫有

基氏

新田六郎
兄弟あり
子孫多

朝氏

新田小太郎
贈上總介兄
弟其子孫有

氏光

新田太郎後號滿氏
義兼カ氏光迄六代の間ニ大館田中羽根川堀口桃井等之家號餘多ニ相分るなり

筑後佐田新田系圖

(之カ)

て中三布を黒くするなり、義重二引兩の旗ハ八幡宮に納め幕笠殿ハ山名伊豆守義範にゆつるなり、贈鎮守府將軍基衡か女を娶とす、此腹に子なし、頼朝治政の時不和なり、其故ハ頼朝の舎兄義平ハ義重が婿なり、義平死去の後頼朝伊豆ニ有て義平乃後室を娶とせんとするに依て義重其娘を他に嫁せしむ、頼朝深く恨らる、といへ共一門の棟梁たるに依て終ニ和睦せらる、鎌倉に於て頼朝對面之時座せらる、ハ義重一人なり、建仁二年ニ卒、法名上大光院

義貞

新田小太郎、祖父朝氏の家督、氏光早世ニ依てなり
 母ハ堀口入道か美女、正安二年正月三日ニ生ル、正四位左兵衛督權中將播磨守正和三年三月一日十三にして元服す、朝氏か云氏光か子なれハ氏繼と名乗へし、義か云源家ニ於て嫡孫たりと云へ共時にあハされハ家繼なり、氏光足利家時を鳥帷干親に頼る、に我家に用る字とて氏光と名付を讀て滿氏と改る、に一度家を興し人の下風に立ましきとの所存成へし、其子として何そ氏繼とハ名乗へきとて朝氏か命を背き十七歳にして義貞と名乗弟小次郎を義貞義を立てハ汝ハ其たすけとなれとて義助と名乗するなり、後醍醐天皇北條高時御誅爵の爲笠置の城に籠給ふを聞て時の至るを悦て密ニ使を以て給旨を申給り高時をうたんとはかろうに其使笠置の城下にして城に入るを得ず日を送る所に城落、天皇流されさせ給ふ故本意を失ふ、然處に高時か命ニ依て吉野金剛山の討手ニ上洛千破劍の城ニ向ひ大塔宮より高時追討之令旨を申給り上野ニ下り義兵を起し鎌倉を攻破り相模入道高時を討して關東平均す、嫡孫ニ三麟形を紋とする事有ハ天皇義貞か軍功を賞し給ひ汝ハ北條か跡を追て天下無双之大祿を得へし然ハ討取之北條か紋を以て汝か紋とせよとの勅定ニよつてなり、此時出羽奥州兩國を給り先祖義家か例ニ任て鎮守府將軍ニ補せらるへしと直ニ給旨有といへ共尊氏か讒言ニ依て播磨上野兩國を給る、其後尊氏朝敵と成時官軍之惣大將を奉り度々軍功有ニ依て官位昇進す、山陽道山陰道十六ヶ國の官領ニ補せられし時生ての面目死ての名譽全生命を惜へからず給る所の給旨身を離す現當二世の冥加とすへしと申けれハ猶以敬感達からずして常の給旨ハ戰場ニ臨時具足乃下ニ持難かたかるへしとて番を細く切て宸筆ニ官領を給るとの奥ニ御製有、給る所の給旨七ツの内二ツハ宸筆なり、延元二年七月二日越前國足羽の城外ニして自害ス、年三拾八歳

義助

脇屋次郎
 正五位刑部卿
 義貞と共に軍功有ニ依て

義顯

新田源太郎、母ハ安東左衛門入道か美女、文保三年二月四日ニ生ル

伊豆國給る、後伊豆守任

義治

脇屋式部太夫
 從五位
 後新田左衛門尉と號、出羽國にて死去

義久

脇屋次郎
 左衛門と號
 義治か二男也
 母ハ白拍子
 西征將軍頼朝九州ニ下ル將軍官カ筑後國饒葉郡佐田を給る是カ佐田と號

神次郎

母ハ佐田の長か女なり早世

女子

母ハ神次郎に同じ、新田義明か妻、義久九州ニ下る時西國も亂の最中なれハ佐田村旅宿の鉢ニ而居住する處ニ長か女ニ相馴たり、郷人義久を殺んとする時長か云落人と見へたり名乗給へ我娘既ニ懷妊となる上ハ婿に取へしと云ニ依て有の儘ニ名乗の時長カニ悦ひ馳走し置たり
 其後將軍官カ知行給るニ依て即長カ女を妻とし儲たる子なり、義久四國ニ住して後九州ニ下るなり

筑後佐田新田系圖

從五位下越後守、義貞と共に軍功有ニ依て越後國を給る、比叡山ニ而皇居の守護して居ける時千種中將殿雪積りたる木の枝を打て扇やあると問れしになしと答、天皇障子を隔て寂開有て義顯ハ兵杖をこそ帶せめ此寒夜に扇子をハ持ましきそ乍去時ニ取て扇なきハ無念なりとて則扇を給る、其給に澤瀉を書たる扇なり、是より扇の内のおもたかをも紋としたるなり、延元二年三月六日越前國金崎ニ於自害、生年十九歳、拈香の偶にハ生年十九歳にて右近衛中將と成廿一歳ニ而卒スと有

義興

新田左兵衛佐、童名を德壽王丸といふを忝も於御前元服をさせて左兵衛佐と召サる

義宗

新田小次郎、母ハ義顯ニ同じ
 正四位少將武藏守越前上野の境にて戦死共いへり、出羽ニ而卒ス共いふ、後ニ新田太明神と祝ふ共いへり

義一

新田四郎、母ハ菊地七郎藤原氏基か養女玉竹といふ妾なり、義顯北國ニ趣時齊藤五郎兵衛と云者を此妾ニ相添置此女懐妊なれハ必子出生すへし此亂中ニ我安穩成へき事をしらす若何方ニ而も死たらんにハ此女を上野に連下り新田四郎義繁に相渡し出生の子男子ならば我形見ニくれよ女子ならば守刀ニくれよと云て七寸の刀を渡す後鳥羽院の御作なり、義顯戦死の後此女髪を剃り露風禪尼と號し上野ニ下り新田四郎義繁ニ養育せられ延元二年四月廿六日男子出生ス、露風ハ翌日死す、義繁其子を養育す、義繁病死之後足利左馬頭基氏瀨良田ニ發向し城を攻、義一類多戦死す、義一も基氏ニ生捕ル時十三才なり、基氏新田一族中ニハ誰人の子そと問、義一義貞か嫡孫と名乗ん事恥なりと思ひ新田四郎義繁か末子なり早く死罪ニおこなふへしと答ふ、基氏はを聞て新田足利ハ一姓なり一且敵となり味方と成相戦ハ武士之習なり新田之名跡も斷絶すへきにあらすとて新田四郎義一と名のらせ瀨良田の庄を与らる、強力にして勇氣有り、其後新田義宗ハ系圖并後醍醐天皇ヲ義貞ニ給る論旨を送て義一ハ富家嫡孫なり急基氏を討へき旨密々ニ云送る時ニ義一廿二歳返答して云、基氏を討へき事掌の内ニ有然れ共吉野殿御政道諸人うらむ蒙中なれば基氏を討共誰か富家に屬すへき南朝の政して天下王化ニ歸する時至を待へし其期ニ於てハ指南を待へからず基氏恩を厚し我をたしむ事天の与ふる驗有ハ日を逐て我威勢強く關東の諸人我を重すへし其時天下を治へし頃年新田の一族旗を舉れ共むなく軍兵を失ふ斗也能く思慮有へしと云送て義宗か云送る所を基氏ニ示す、基氏彌したしまる故東國の大名小名義一をおもんす、然處ニ芳賀禪可入道基氏を恨て武藏野にて合戦ス、義一基氏ニしたかひ先陣ニ進ミ戦死す、貞治三年六月廿四日年廿八才法名陽光義山と號

義光

字ハ矢太丸、母ハ基氏の侍女忍三郎在原常政か女、文和三年十二月廿七日生、十二歳にして義一か一跡を相續し十三にして元服し新太郎と號、義一か家人江尻五郎左衛門を陣代とす、五郎左衛門病死之後別府次郎兵衛を陣代とす、別府も義一か譜代の家人なり、江尻か子陣代を望、然其上杉民部太輔是をゆるさず、三郎恨を含ミ新田義宗義治ニ内通し基氏井上杉を討たんとす、毒を以別府を殺時其妻露顯して三郎ハ上杉に討れたり、義光幼少の間は陣代をやめ十五才迄ハ在鎌倉すへし扶助の家人ハ鎌倉ニ而扶助を加へ十五才の時知行返し与へらるへしとの議説にて知行沒收せらる、然るニ基氏逝去、依て其事相違して十五歳ニ成といへ共本領案堵の沙汰なし、是ニ依て白倉三浦近藤宮本玉繩等家人十一人義光を扶助して九州ニ下ル、里見十郎義胤肥後國ニ有て西征將軍ニ隨ひ奉る、義光一家の嫡流たるニ依て親切ニ介抱ス、菊池肥後守武政も義光か來を悦肥後國益城郡ニ而三千貫ヲ義光か知とす、是に依て始ハ益城郡ニ居住す、將軍官懷良親王より筑後國鳥飼の郷を給り上野介ニ任せらる、其後筑後ニ居住す、此時吉野より給ひたる論旨ニ者建徳と有、將軍官より給る令旨と菊池か狀ニハ應宋と有、應宋の年號ハ菊池か九州ニ用ひたる年號なり、木山寺鳥飼兩所を居城とす、應永八年二月八日病惱ニ依て出家し同三月十五日死去す、年五十才法名空眼無間

義高

字ハ小太郎、母ハ菊池武俊か女、天授二年正月十日ニ生ル、應永四年七月廿日二十一才にて病死す、法名良秋泰岸と號

女子

原田種長か妻

義明

字ハ仙壽丸、母ハ字佐美八郎太夫政矩か女を菊池武政養子して義高ニ嫁す、義高死去の時義明三才祖父義光養育ス、七才の時義光死去す、此時知行にはなる、故脇屋左衛門尉義久男子なきニよつて義明を養子とす、十三にして元服し左馬助義明と號ス、義久か家督故佐田と號、經氏に脇屋の家號ヲ讓て後新田と號黒木秋月問註所筑紫等か奪取所の本領皆取返し義光かことく木山寺鳥飼兩所ニ居住ス、應永二年六月十三日ニ生レ應仁三年正月廿九日七十五歳にして卒ス、瑞光院寶岩□祐大禪定門と號

義明實ハ武藏守義宗の子義寛より三代奥山入道臨燒か子也、義寛ハ臨燒迄の間二代其名しれす、義高初妻有、早世ニ依て字佐政矩か女奥山入道ニ嫁て男子一人出生の後臨燒死するニ依て政矩か許ニ歸居たるを菊池養子して義

號後佐田新田系圖

高か妻とする也、義明ハ讃岐國鷺田の庄にて出生なり、義明實父臨遠四國乃新田とハ庶子嫡流の吳論ニ而不通なり奥山ハ元來菊地一姓之義寛母方乃名字を隠し名乗たるなり

景氏

字ハ源太郎、母ハ義久か女、正長元年十一月十四日生ル、上總介ト號ス享徳四年正月廿九日廿八才にして卒す

詮氏

女子

高山十郎大神惟秀か妻實ハ佐田義久か女を義明養子とするなり

女子

新田詮氏か妻

經氏

高山惟秀か嫡男也、義明ハ藤屋の家督ニ依て佐田式部太夫ト號星野郷ニ而戦死

上野國世良田の住新田備前守氏尙か嫡男也、母ハ澁屋某か女、字ハ八九郎上野介ト號河内守と改む、氏尙ハ新田四郎義繁五代之孫也、景氏死去の後義景幼少にして義明年老たるニ依て義景成長迄存命不定なる故一姓の輩に家督を相續し義景か後權とせん爲使を以て氏景ニ云送る、是ニ依詮氏十七才にして享徳四年三月上洛して同四月十三日鳥飼ニ到着ス、則義明か女を妻とす
後醍醐天皇ハ義貞え給る宸筆等ハ義光九州下ル時世良田ニ留置たるを今度詮氏持下るなり、文明四年十二月十八日高祖の城を攻て矢ニ中り同廿日三十四才にして卒、法名悦正宗覺

義景

母草野民部か女、文安五年十一月廿四日ニ生、字ハ菊鶴九十三にして元服し新太郎と號、詮氏戦死ニ依廿五歳にして詮氏か一跡を相續し始て大友と和睦す、將軍義隆ハ御教書等送られたり、永正十五年十月廿七日七十二才ニ

して卒ス、一ハ隨鏡山祐簡

女子

麥生三郎兵衛尉大神惟宗妻、母者家女房

女子

笠良木七左衛門源親具妻母ハ義景ニ同

義照

實ハ詮氏か子なり、母ハ義明か女、文明二年六月二日ニ生ル、字ハ源太郎、十五才にして元服し刑部太輔と號ス、後ニ右衛門督と改む、二才乃時詮氏戦死する故義景是を養育し婿として家督とす、養母ハ菊池左馬介武信か女也、周防國大内介義興と大友五郎義鑑と合戦の時、大敗軍之刻天文五年三月十日義照父子三人出陣し大内勢を打退く、夜ニ入テ敵又寄來時大友勢皆敗北ス、義照父子三人死を究相戦、義政義尙戦死ス、義照も疵を被り手勢皆討る、故自害ス、年六十才、家子郎從三百四十二人筑後國生葉郡大生寺ニ於て一所ニ戦死ス、長松院春翁雲谷大居士初メ之妻義景か女死去の後大友豊前守政親か女大友備前守親治の養女を妻とす、此故ニ大友ニ加勢をなす也、義英共用たる也、

女子

義照妻、母ハ菊池武信女

女子

隈部上總介忠直妻、母前ニ同し、此外早世の男子女子四人

筑後佐田新田系圖

義政

母ハ大友腹、
永正九年十一月九日ニ生
ル、字ハ太郎
次郎肥後守ト
號、廿五歳に
して死、

義信

母ハ齋藤玄因カ女、義照カ養女、享祿四年三月一日生ル、字ハ竹鶴丸、左兵衛尉ト號、後ニ筑後守ト改む、義政戦死の時六才也、是ヲ知行少分ニ成也、天正十年二月七日五十歳にして卒ス、法名揚義寂心居士

種氏

母ハ家女房、伊藤小五郎ト號、義政妻を迎ふる時懐胎乃女房有伊藤源太左衛門ニ嫁せしむ、其出姓の子也、伊藤ハ義施下也

義尙

母ハ義政ニ同
シ永正十七年
九月八日生、
十七歳ニして
戦死

女子

母ハ大友左兵衛督義鎮の妹なり、義信四十才の子也、此外早世乃男子女子有、義信男子無之ニ依テ氏景カ孫源太郎を養子として此女を妻とし家督とす、此女十九才の時離別ニ依テ肥前伊佐早の住阿都千右衛門尉妻と成也、

氏景

(以下略)

母ハ家女房、永正十六年五月廿三日ニ生ル、岩千代丸、里見左衛門太夫氏範カ養子となる、氏範戦死の後、氏範カ(續カ)直子丹波守氏俊ト庶子嫡子の相論ニ依本姓ニ復リ山名伊与守頼氏戦死乃一跡を相續シ山名兵部少輔ト號、後ニ新田遠江守ト改む、義英戦死の時十八才、鳥飼に残リ城を守故氏景ハ存命也、星野彈正左衛門卿ト成、大友義鎮施下ニ屬シ義鎮ノ字を授リ鎮景ト改む、法名鎮松、肥後國宇土ニ於テ慶長十二年三月十四日八十九歳ニして卒ス

新田氏
編年史料
索引

新田氏
編年史料 索引

7

藍莊ノ戦……………六一〇
 青木(人々)……………四四三、七六、七六六、七六八
 青根郷(新田庄)……………三〇三、三二四、三三〇、三三〇、三三七
 一三四四
 青根三郎(新田住人)……………一二二
 青野原戦……………八四三、八四八
 赤城宮……………一九〇、三四四
 赤田城……………一九四
 赤松城……………五七一、五九八
 赤松範資……………四八三、四八七
 赤松則祐……………六九五、九三六、九五二、一三六、一四六
 赤松光範……………一三三、一三六
 赤松次郎左衛門尉……………一四九
 赤松義房……………七三六
 赤松則村……………三三〇、三五四、四六七、五四四(他略)
 赤間關……………一〇七三、一〇七六
 赤坂合戦……………八四一、八五一
 明石城……………九〇二
 赤司城(筑後)……………九七九
 赤館……………二七八、二八三

索引

索引

赤橋守時……………三三四、三四一
 赤星武貫……………二八五、二八八
 赤堀(新田庄)……………三〇四
 能浦(人々)……………四三〇、五五八、一〇一六
 秋月(人々)……………六四四、一八四
 能間一族(人々)……………三二六、三七一
 秋元郷……………一五九、三三九
 悪八郎……………九九九
 あぐり御前……………一六八
 阿佐美郷(新田庄)……………二九三、三三六、三四六
 淺宇津城……………九四一、九五三
 足利氏滿……………一三四五(他略)
 足利俊綱……………七八、九〇
 足利忠綱……………八、九〇
 足利高氏(當氏)……………三四三、(轉參)一〇六八
 足利高經……………四五、六九(他略)
 足利直義……………(轉參)一〇五五、(死)一〇七八
 足利朝綱……………七一
 足利義康……………七一、七六
 足利時家……………七三九
 足利義詮(千壽王)……………二六六、三八、八四(他略)
 足利秀綱……………八五七

足利直冬……………一〇六一、二二六、二四八、二五五、二六五
 足利基氏……………一〇六三(他略)
 足利岩松殿……………六七五
 足利義純……………一四〇、一三〇六
 足利滿隆……………一七七
 足利義兼……………八六、三〇八(他略)
 足利義滿……………一三六六(他略)
 足利滿兼……………一三三七、二九六
 足利別業……………七〇
 足利持氏……………一三〇五(他略)
 足羽城……………八六三、八七七、九〇三
 葦刈七郎……………四四一
 安志城……………七三六
 足垂郷(新田庄)……………一三八、三四六
 葦谷義顯……………七七八
 葦名(人々)……………一〇九六、一一一、一二三、一三三、二八四
 阿蘇治時……………二四五
 阿蘇大宮司……………七五八、八三〇、八三四、一八三
 阿蘇惟澄……………一三二
 阿蘇(會)宮……………三三九、六九〇、七五八
 足立(人々)……………六四四、七五八、八六〇
 熱田大宮司……………四四八、六四三、七五七
 厚東武直……………四〇五、一〇七三、一〇七六、一一五
 足積出羽守……………一三六
 賀名生……………一〇八四、一〇九四、一一三〇

一

安保(人々)……………一〇七、一〇九、一〇七、一〇七、一〇六五
天野(人々)……………三九六、四七九、六四八、九七三、七九六、八六〇
一〇九、一一三、一六〇
甘繩……………一六八
淡甘(新田郡)……………七八
荒居村……………三八九
新居關……………九三四
荒川(人々)……………六六五、七六五、八三八
荒針城……………八三六
有井又三郎……………九五五
有福城……………七三二
安東左衛門尉高貞……………二七三、三〇六、三三一
安東(人々)……………三三一、三三三
安藤(人々)……………四九二、二五七、三九〇
安間(阿万)六郎左衛門……………八四四、二四九
安養院別當……………一三三三
安養寺(新田庄)……………一〇五七
安養寺殿……………九三三
安養寺惟義……………三三三
井伊城……………七四三、九三三、九五三、九八八
井彈正……………二六八、二七〇
井伊介……………八三三、九五〇
飯田郷(新田庄)……………一三三六

イ

飯塚郷(新田庄)……………一九七、二二〇、二七〇
一三七
五十嵐文四・同文五……………一一一
斑鳩山合戦……………五六一
伊岐代(須賀、城)……………四三三、四三六、四三二、四七四、四八二
七四四、一三〇
生夷莊……………一三三、一六八
生品森(宮)……………二六三、二六四、一三四五
生葉莊(山)……………九七九、九八一
池(人名)……………九五〇、一〇七八
池田判官義胤……………七三七
池田五郎晴年……………六六四
伊佐宗久……………一〇四四
伊佐城……………一三八三
伊澤五郎……………九三〇
石井城……………一三三八
石井源内左衛門入道……………七二一
石川七郎義光……………三二〇、六五〇
石柱城……………九三六、九六三、九六四
いしおの郷……………一三四五
伊自良(人々)……………八八六、九〇七
石津……………八八〇
石塚郷(新田庄)……………一三三五、一三四六
石堂……………六三四、六五五、六六二、九四九
石堂義房……………一〇九六、一一〇、一一八

石堂頼房……………二二六、二四一、二五五
石塔(堂)義基……………一一〇、一一八、一二三、一二六、一二一
石動山……………四六八
石濱……………九三〇、九三五、二〇五、一一〇、一一二、一一三、一一七
一一三
石濱(人々)……………一〇五、一一〇、一一二
石橋和義……………八七九、九八八、九四三、二四六
石原兵衛三郎……………一〇七七
石丸城……………九二二、〇六〇
伊丹城……………一三三三
一井(新田庄)……………二八四、九〇七、九四九、〇九七
一井郷(新田庄)……………一〇九、三三〇、一三六、三四四
一井宮内大輔……………八八六
一井左京亮……………一三八三、一八五
一井兵部大輔義時……………七三三
一井兵部大輔義匡……………四〇五、六四三
一井兵部少輔氏政……………九九五、一〇〇六
市河(人々)……………二八、三三六、三三三、三四三、七四九、七六六、八八五
七九三、八〇五、九六六
市河五郎……………一七〇
一族一揆……………九三二
伊知山城……………一〇〇六
一條頭大行房……………六四二、七五七、八二二、九三三、九三七
一條駿河守顯行……………六四三
一條駿河守爲治……………七六六

一條二郎……………四四四、七二〇
一條少將行實……………六四三、七五七、八六〇、八七八、九六六
一條少將行尹……………七三七
一宮源藏人大夫入道……………一〇五六
市村王石丸……………二七〇
市山城……………九三三、九三三
一貫寺城……………九六〇、一〇〇九
一色直氏……………一六三
一色範氏……………八三九、九六八、九七九、一〇三三
一田瀬城……………九三六
伊豆吉祥寺……………一六三
五辻宮……………九三三
一引兩……………七九六、一〇〇六、一一五
五ヶ畑……………一六八
井出彈正少弼……………一三八
井出澤……………七三
出塚村(新田庄)……………七六、一一三、一一九、一二〇
伊藤(人々)……………四三三、五三三、六四四
伊東大和次郎……………八六〇
井藤内左衛門尉……………一〇三三
糸崎城……………九三
稻毛莊……………一六九、二四八
因島……………六八一、一〇三三
稻積城……………九七〇、九六六
因幡登者全村……………五三〇

稻村崎……………二七九、二八四、三九六
大間郷(新田庄)……………一三三三、三四四
井上俊清……………一〇四三、一〇四三
井上布袋丸……………一〇五三
伊原城……………七三三
伊吹太平……………七二四
今井郷(新田庄)……………七六、一〇九、一〇九、一七二、一九五
一九八、二〇〇、二一一、二四〇、二三八、三三三、三三三、三三九
一三三、一三四三
伊部岡……………九四〇
今泉村……………一九三
今川貞世……………一三四三
今川(人々)……………六四三、六四七、六八七、七三三、七三八
七四一、八五一、八五三、八五三、九八〇
今木(人々)……………五八四、六〇七、六四三、六六七、七一、九四九
今庄久經……………七六六
今庄淨慶……………七六五
今張浦……………一〇一八
今湊宿……………八八七
尹良親王……………一三三四、一三六六、一三六三
入間川……………二六六、一〇九(他略)
色部長倫……………三四三、三六七
岩城刑部大輔忠門(忠將)……………一八二、一八三
岩瀨河郷……………一三三、一三四六
石西(新田郡)……………七八

岩松(新田庄)……………三六五、三八四、四一七、五九三、六三三、六六六
九四九、一〇五、一〇九七、一〇九九、一一二、一一三
岩松有義……………一一三
岩松明純……………一〇九九、一〇〇〇、一〇〇一、一〇〇二
岩松家純……………一〇〇二、一〇〇三、一〇〇四
岩松氏純……………一〇〇四
岩松龜王丸……………一〇〇五
岩松相模守……………一〇〇六、一〇〇七、一〇〇八
岩松郷(新田庄)……………一〇〇九、一〇一〇、一〇一一、一〇一二、一〇一三
岩松左馬助滿國(後集)……………一〇一四、一〇一五、一〇一六、一〇一七
一〇一八
岩松三郎……………一〇一八
岩松式部大夫……………一〇一九
岩松重廣……………一〇二〇
岩松治部大輔眞義……………一〇二一
岩松治部大輔……………一〇二二、一〇二三、一〇二四、一〇二五、一〇二六、一〇二七、一〇二八
一〇二九、一〇三〇、一〇三一、一〇三二、一〇三三
岩松直國……………一〇三四、一〇三五、一〇三六、一〇三七、一〇三八、一〇三九
一〇四〇、一〇四一、一〇四二、一〇四三、一〇四四、一〇四五
岩松經兼……………一〇四六、一〇四七、一〇四八、一〇四九
岩松時兼……………一〇五〇、一〇五一、一〇五二、一〇五三、一〇五四、一〇五五
一〇五六、一〇五七、一〇五八、一〇五九
岩松經家……………一〇六〇、一〇六一、一〇六二、一〇六三、一〇六四、一〇六五、一〇六六、一〇六七

岩松長純……………一三九、一三六、一三〇八、一三三三
 岩松能登守滿春……………一三二、一三三、一三九
 岩松尙純……………一三二九
 岩松兵衛藏人義正……………六四三、六五六
 岩松本阿彌陀佛……………三五三
 岩松本空……………三八一
 岩松政經……………一六八、二〇〇、二〇六、三〇八
 岩松丸……………三六一
 岩松三河守……………一三九、一三八、一三四三
 岩松滿純……………一〇五、一三三〇
 岩松滿親……………一三〇、一三二、一三三
 岩松滿長……………一三〇、一三二、一三三
 岩松民部大輔……………四〇五
 岩松村田頼氏……………一六、一三一、一三八、一三〇
 岩松持國(土用安丸)……………一三四、一三六、一三四六
 岩松守純……………一三四
 岩松義氏……………一三三
 岩松義純……………一三〇八
 岩松義繼……………一〇八〇
 岩松頼有……………四一五
 岩松頼宥……………九七七、一〇四四、一〇五一、一〇五六、一〇五七、一〇五九
 一〇六〇、一〇六五、一一三、一一五、一一八、一五五、一三六八
 岩松頼圓……………三四七
 岩屋堂……………一八八

院豪……………一六、四九、一〇、一六六、一七〇、一七八、一八四
 院隆、院快……………一三九

魚沼一族……………一五四
 牛養刑部大輔……………一八四
 宇加地城……………一五四
 宇具須郷……………一五九、一三三、一三九
 宇佐美一族……………六三、七五七、一五七、一五八
 羽州藤島城……………一〇五八
 氏家(人々)……………一〇九、一〇九
 氏家中務丞重國……………九一〇
 牛澤郷(新田庄)……………一五七、三九三、三三四、三三四
 氏寺……………三三〇、三三九、三四〇、一六七
 笛吹峠……………一〇八、一一〇、一一一、一一三、一一七、一一八
 二三三

碓井峠……………一〇八七、一三三
 宇治惟澄……………四九三
 宇治惟直……………四〇九、七四三
 宇治惟時……………四〇九、八四三、五五五
 打出合戦……………九四六
 右中將實朝……………一八一
 宇津越中守……………六三三、六四三、六五六、七五七、七五九
 宇都宮(人々)……………一八一

七九六、八三七、八五五、八六〇、九〇七、九一五、九六六、一〇六八
 一〇八七、一一三、一一四九、一二六、一三三三
 宇都宮城……………一四四
 宇都宮清黨……………一七三
 宇津峯宮……………四三三
 宇野(人々)……………七三六、一三三
 上木(人名)……………六九四、八三六、九〇七
 上木平九郎……………八三五、九〇七、九六七、九九九
 上島惟頼……………四〇九、四三三
 上相三郎五郎……………一〇六五、一〇六七
 上杉謙將……………一〇五三、一〇六四(他略)
 上杉憲顯……………八二、八三〇(他略)
 上杉能憲……………一三三、一三四
 上杉(人々)……………三八八、五三四、六八七、七〇七、八五三、八五五
 一一一、一三三、一三四、一三四六、一三八三、一三〇六、一三三一
 上杉禪秀……………一六三、一三〇五
 上田莊(城)(兼田山)……………三六、三七七、一〇二、一一七
 二九五

上田時貞……………四〇九
 上野頼兼……………九三、九六、一〇六三
 上野城(葛籠)……………九七三、九七七
 瓜生(人名)……………六九四、七六九、七八三、九〇七、九一三、九六〇、九六六
 瓜生城……………九八八、九九〇
 瓜生兵庫助重……………七六五、八六〇
 瓜生彈正左衛門照……………七六三、八六〇、九一八

瓜生判官保……………七三三、七九三、七五七、七六、七八、八三三
 瓜生次郎左衛門……………八〇〇
 字和島……………一三七七

工

英憲僧都……………四六六
 榮尊(神子)……………一三〇、一三二
 榮朝……………一三三、二九、二六、二八、一〇五九
 江田(新田氏)……………三九五、四九五、五二、五四九、六六、六六三
 七〇五、七〇九、九四九、一〇九七
 江田郷(新田庄)……………七、一五七、一六七、一八四、三〇四、一三五
 一一八、一三六、一三七
 江田郷内得河方……………一三七
 江田源八郎泰氏……………六〇
 江田九郎……………五九九
 江田五郎……………一八
 江田五郎太郎……………一三三
 江田小次郎……………九六
 江田御坊……………一三七
 江田丹後守……………一八五、一八
 江田兵衛尉……………一三三
 江田兵庫允……………一〇〇
 江田廣澤三吉……………四六八、一三三
 江田孫六……………一三三
 江田行義……………一八三、四〇七、四七五、四七七、四八三、五四九、五五六

五六八、五七一、五八一、五八四、五八六、五九八、六三三、六四三、六六一
 六六五、七四七、七五三、七五六、八三三、八三四、八三七、
 一〇三三
 江田光義……………三六三
 江田六郎五郎……………一三七
 越前府城……………八三三
 越後東城寺城……………一九三、一九五
 惠顯上人……………三九八、二四四
 江戶(人々)……………六四三、七五六、八三六、九〇七、九一三、九六六、
 一〇九、一六九、一四八、一三三〇
 海老名(人々)……………三九〇、四八三、一一二
 圓宗院法院定宗……………四六六
 圓佛……………三三
 圓明佛演禪師……………一六八、一〇五三
 延曆寺……………八八八、八四四(他略)

才

大井田(新田氏)……………三八四、三〇一、四九五、九〇七、九四九、一〇九七
 大井田氏經……………二一八、四〇五、五六一、五八五、八八五、九〇七
 二二七
 大井田女子……………三九、三三六
 大井田十郎……………一三三
 大井田遠江守……………三六四
 大井城(庄)……………四〇七、四六二
 大江田左馬助(新田氏)……………一三三三

大江田式部大輔義政……………七七
 大江田式部大輔氏經……………七七、八〇、八三、八五、
 六三三、六四三、七五七、八八六、一〇八二、一一一
 大江田彈正少弼義景……………七九八
 大江田安房守……………一三〇
 大江宗元……………三八
 大江山……………四七
 大音左衛門三郎助俊……………六九
 大河原……………一三二、一三五、一三六、一三七八
 大草宮(宗良)……………一三三
 大胡(人名)……………三三、三七〇
 大胡郷……………三三
 大鳥(新田氏)……………三〇〇、四一七、一九九、一三三
 大嶋郷(新田庄)……………一五六、一九三、一三三、一三四
 大嶋義政(雅)……………一〇八三、一〇九八、一九九、一九
 大嶋義高……………一六一、一九九、二〇一、一三七、一三三〇
 大嶋周防守……………一三〇、一三三
 大嶋遠江守……………一三三
 大嶋通秀……………四九
 大嶋兵庫頭……………五五
 大嶋讃岐守守之……………三三、四四、一〇九八
 大鹽城……………六六、九七
 大城藤次……………九六八、九八〇、九八二、一〇三三
 大館郷(新田庄)……………七八、一三〇、一三六
 大館(新田氏)……………三六五、三九五、四九五、五一、五四九、五七一

大官彼岸所... 大湊... 大西莊... 小俣(人々)... 小山(人々)... 小山城... 小山若丸... 小山田高家... 御下文始(兼氏)... 小笠原貞宗... 小笠原宗長... 小笠原遠光... 小笠原(人々)... 小河成春... 岡崎右中辯範國... 岡部遠江守兼澄... 岡部又四郎... 岡部三郎... 岡部出羽守仲則... 岡本城... 岡本親勝房良圓... 興良親王...

六

太田判官全職... 太田佐賀壽丸... 大高坂城... 大高重成... 大谷村... 大谷道海... 大谷吉宗... 大瀧城... 大瀧加里川... 大塚地名... 大友氏時... 大友氏泰(兼)... 大友貞載... 大友貞順... 大友貞世... 大友千代松丸... 大友能長... 大中黒旗... 大渡合戦... 大渡赤井河原... 大葉左近允... 大佛(人々)... 大佛城... 大保原... 加悅莊... 上野守護職... 上野親王... 上野國府... 上野御子... 河野通直... 河野對馬入道... 河野伊豫守師義... 河野備後守通治... 河野通盛... 河野備中守通繩... 香林(人々)... 香下寺城... 高山寺城... 香坂... 高坂兵部大輔... 高坂刑部大輔... 高坂高宗... 高家一黨... 高伊豫守重成... 高師泰... 高師河守... 高師治... 高師秋... 高師冬... 高師重... 高師直... 高師久... 高師幸... 高和守... 柿崎城... 鹿草彦太郎... 覺源... 覺心尼... 覺譽法印... 藤山莊... 笠懸野(新田庄)... 笠嶋... 笠取原合戦... 風間(人名)... 風間越後守長頼... 風間信濃入道... 花山院... 香匂新左衛門高遠... 賀集莊丹山...

力

女影

加治郷……………一〇八、一五九、三三九
春日部入道……………九一〇
春日部左近將監家經……………七五六
春日部治部少輔時賢……………六四三
柏川村(新田庄)……………七八、三九三
津野(新田郷)……………七八
片瀬……………三九九
方切七郎……………一三三
堅田(人名)……………九五五、一〇三九
片引兩……………四四五、六五八
片柳郷……………一五九、二七五
加地景綱……………四七五、四七八
加地庄洲崎合戦……………四六〇
梶原景安……………一三二
梶原能登(美作)……………一五一
葛新左衛門……………八六、八六三
勝浦庄……………三三三
葛西江判官三郎左衛門……………五三九
勝間田新藏人義仁……………七五七
金井郷……………一六八、三三四
金井殿……………一四九、三〇〇
金井原……………一〇八、一〇八
金崎城……………七四七、七五〇、七六三、七六八、七七一、七八三、七八八、七九一、八〇四、八〇八、八二四、八三一、九二八、九三三
金澤貞將……………三六六、三九九、三〇一

金澤左近將監……………九五五、一〇三九
金津資成……………一三六、一八四
金津城……………九七三、九七七
金丸城……………一〇五三
金山築城……………一三六、一三四〇
金谷村(新田庄)……………一三三、一八八、二九三
金谷(新田氏)……………九四九
金谷治部少輔……………四〇五
金谷經氏……………七三六、八三三、八八四、九〇三、九三六、九五七
加爾坂……………一〇四、一〇九、一〇六三、一三六、一三七
金子(人名)……………九〇七、一五九
懷良親王……………七四三、八四七、八七六、九四三、一〇一四、一〇五九
金持……………二八〇、一八四
金持……………九四九
金持太郎左衛門尉重興……………九一〇
金持大和守俊字……………七五七
金持三郎左衛門尉……………九七三、九七九
狩野河(御奈川)……………一〇八七、一一二
狩野將監貞綱……………四三三、七五七
河合……………八七、九四、九三、九六
河内城……………一四九、一七
河内爲氏……………四〇
河江城……………一〇四
河越參河守……………四〇六、四三三

河島(人名)……………六九四、九〇七、九三三、九五〇、九六六
河島左近藏人惟頼……………七五五、七七〇、八一〇、八六一
河原源次左衛門尉……………一〇五八
河村氏清……………一三三、一七三
河村城……………一〇九、一一三、一二五、一二六、一二七
河村秀義……………四八八
河間左衛門次郎……………九五五
上三江庄……………一五七
加布利城……………一五九
甲斐國安村別府……………一三三
鎌倉左京進……………一三三
嘉摩城……………八三八
釜谷新左衛門尉……………九五三
蒲田郷……………一五九、一三九
神餘(益)城……………一〇三
賀茂次郎左衛門……………六四四
龜岡郷(新田庄)……………二六七、二七〇
賀屋新庄……………一三九
唐崎城……………九三六
唐橋左馬頭經氏……………一八三
唐梅ノ紋……………三三
川波新左衛門……………四七一
豐殿法師……………六九五、七三一、七三三
鑑堂大圓……………三〇〇、三〇三
蒲原津城……………四八八

甘露寺左大辨藤長……………六四一
神田……………一四〇

奇英……………一〇三
木尾嶽……………一〇三
木屋行實……………一八一
祇香城……………一六五
木賀彦六……………一五四、一五六、一五九、一六一
義鑑坊……………七六四、七九三、七九六、七九九、八〇三
桔梗ヶ原……………一五九
菊池武明……………一八八
木島郷(佐位、新田庄)……………一〇五八、一三三、一三四六
木崎村(新田庄)……………七八、一〇五七
菊池次郎……………六三三、一八五
菊池武吉……………六三三
菊池武重……………四四一、四四八、六三三、六四三、七五九、一〇三三
菊池武朝……………六三三
菊池武敏(俊)……………四七〇、五六〇、七五八、七八〇、九六三、一〇五一
菊池武光……………一七五、一八〇、一九五、一九七、二四四
菊池武澄……………一六〇、一八〇
菊池武盛……………一三〇七
菊池武勝……………一三六
菊亭實真……………六四三
菊田莊……………一五九、一三三

儀源比丘尼……………九三三
紀五左衛門……………三六六、三三三
紀清兩黨……………八〇〇、八四三、八四七、八五三、九〇七
木曾義仲……………八六
北笠島……………一四〇
北畠顯信……………八八八、八七〇、九三三、九三〇、一〇七八
北畠顯家……………三三三、三三一、四三〇、五〇八、五六一、五八八、六四三
七二、七七、七九、八三、八三〇、八四三、八四八、八五三
八五五、八八、八六六、八八三、八八三、九三三、一三九、一七三
北畠親房……………七五八、九三三、九三三、九三三、九三三、一〇〇八
一〇三六、一五三
木田城(庄)……………八三三、九四一、九四三、九四九、九六五
吉河(人名)……………五八七、五九九、六八八、七三三、八三六、八四九
八三三、八三〇、九三三、九三三、一〇一一
杵築太郎……………六五三
紀黨……………一〇七一
紀藤五入道……………八八、二九八
木村山城……………九四四
木目崎……………七六一
肘付兼重……………五三三、七九四
行仙房……………一六八
京家ノ人(兵)……………四三三、四九〇
刑部大輔景繁……………七八〇
清瀧城……………四六三
清瀧村……………一〇七四

吉良(人名)……………六三三、六五五、六六三、六八四、六八七、六九六
一〇七八、一三六、一三三、一三六
桐生六郎……………九〇
近江寺……………五四〇、五四三
金輪院律師光澄……………六六七
金龍寺……………一三六

久我織部佑利廣……………六四四
久下(人名)……………四六七、八三九、八三九
草壁六郎……………一八四
草野(人名)……………六八七、一八四
楠田合戦……………八五〇
楠正家……………五三三
楠正成……………三三三、三三七、三五七、四六九、四七三、四七八、
五四三、五四九、六三九、六三八、六七七、七〇三、一〇三三
楠正成ノ軍船……………五九三
楠帶刀正季……………六三〇、六三八
楠帶刀正行……………七八三、九五〇、一〇四七
楠正儀……………一〇四七、一三五、一四一、一四一、一四八
忽那重清……………四六三、六四九、六八五
忽那則平……………一七七
忽那義範……………一〇四八
國魂行泰……………八四一
國政……………一七三

桑野原戦.....八三九
窪泰助.....一八四
熊谷運覺.....四三〇、六二
熊谷備中守.....八六〇
熊野ノ兵船.....一〇七
熊野宮.....一三九、一三四
熊山城.....四七
久米川.....二六六、一〇九九
久米六間在家.....一五九、一七三、一三九
雲津川.....八五〇、八五九、八六三
倉俣村.....一九三
栗澤正忠正景.....一〇三
栗田(人名).....一五九
栗生(人名).....二九六、四八、四四九、五一、六二
栗生左衛門.....四三三、四三、八三、七六八、七六九、七六
久留郡山合戦.....四七三
黒河城.....一〇八
黒田(人名).....五二四、八四九
黒地河.....八〇〇、八五七
黒沼入道.....一六〇、三六
黒丸城.....八七、九三、九〇九、九一三、九六五、九七五
黒丸入道覺性.....五七、九〇五
觀音寺城.....四六
觀音寺.....五〇〇
願蓮寺.....七五九

勤修寺經顯.....七五六
宏潤.....一〇四九
慶雲寺領(新田庄).....一三六
桂峰文昌.....一〇七三
桂堂士聞.....一三三
化粧坂.....三七九
月菴自昭.....二二、二五、二七
月山.....一〇三、一〇四九
決翁元勝.....一〇五三
月船探海.....一八五、一八九、一九七、三〇一、三〇三
氣比彌三郎大夫氏治.....七六三、八二三
氣比大官同太郎.....七六、七八三
見阿.....三〇三
見閉山城.....八三
元空.....一七八、一八三、一八九
見山崇喜.....三〇三、三一一
顯日.....一四〇、三〇三
顯法寺城.....一五七

額戸郷(新田庄).....二六七、二七〇、二九二、一三三、一三三
額田(新田庄).....二八四、三〇〇、三〇一、三〇七、四八二、五〇九
額田掃部助正忠.....四〇五、六四三
古戸(額戸)彌四郎.....一三三
阿當内侍.....二七、七六、九三、九三三
こかん(後閑)(新田庄).....七七、一七九、一三三、六
極樂寺坂.....三七九、三九九
小倉津合戦.....一〇七、一〇七
こくらの郷.....一三三、七
小佐治基氏.....六七五、七四三
古志部乙面.....一三〇
兒島高德.....四六六、五八三、六〇五、八九九、九四九、一〇三六、
一〇七、一〇三九、一三三、一三三、一三三
兒島刑部少輔公衡.....六四四
小嶋郷(新田庄).....一一、一三三、一三三
小島越後守.....八〇
小角田村(新田庄).....七六、三三、一四〇、一三八、一三六八
一三三、七
小角殿.....一八四
後醍醐天皇御遺勅.....九四九
五大院右衛門.....三〇九、三三三
兒玉五郎左衛門.....一〇〇
兒玉庄左衛門.....四〇六
五條良造.....一八二、一三三

五條良氏.....一八一
五條頼元.....八四八、八六六、九四五
小手指原合戦.....二六六、一〇八九、一〇九、一〇九、一〇七
二二〇
後藤信明.....二六六
後藤基泰.....三六
近衛道嗣・基嗣.....一四三
木幡山.....六四、七三、七三、一〇〇
小濱.....七六
小早川七郎.....七〇
小早川景平.....八六七
小早川相順.....八六七
小早川平三.....六八四、七三
小林村.....一五九、一三九
亙福呂坂.....二九七、二二二
護法城.....四六
高藤原.....一〇八、一〇九
小松島浦ノ船.....三三三
こまわ御前.....一六八
籠澤(小守澤)(新田庄).....四一七、四八二、四九五、九四九、一〇九七
籠守澤入道.....四三
互瀧菴.....三〇三
近藤四郎右衛門尉.....九三五
紺邊濱.....六三九
木濱役所.....七四三

西庄(佐佐庄カ).....一三三
税所久野.....三三三
齋藤道獻.....九〇六、九一三
齋藤季基.....九一三
齋藤宗徳.....五三七
齋藤宗利.....三六八、九六四
西方寺城.....九四〇、九五九、九六五
西明寺城.....一〇八五
相馬下野守.....一三一
相馬能胤.....一一七
相馬忠重.....六六四、六六七
左衛門督基實.....七三、七五
佐河四郎左衛門入道.....九五五
堺浦戦.....八六三、八八〇
堺壹岐守.....一七〇
酒邊.....一三五
相模次郎時行.....三八九、九二七、一〇九一
酒匂左衛門四郎.....一一一、一二三
鶯坂.....四一〇、四一九
鶯田庄.....四六五
櫻田貞國.....二六六
櫻山.....五三三、七一、九四九
佐々木忠清.....八〇三、八一八

佐々木高貞.....四四三、七八九、九八九
佐々木忠枝.....一八八
佐々木信胤.....四六六、六三八、一〇一五
佐々木野少將守賢.....六四三
佐々木出羽(兼).....五〇七、六七九、七三〇、七四〇、七四三、七四三
位々木道譽(高氏).....六七六、六九〇、七〇七、七二五、七三〇
七四四、八五七、一五八
佐々木(人名).....五〇一、五〇五、六三三、六三八、六九二
佐崎原合戦.....四四八、五九六
雀部城.....九四三
さすのみや.....一〇五八
佐竹貞義.....七七五
左中將藤長.....七五九
佐治山合戦.....七七七
薩埵山合戦.....一〇七〇
里見(新田庄).....二六五、二八四、二九五、三〇〇、三〇一、三〇一、
四三〇、四八二、四九五、五三三、五四九、六三三、九七七、九四九、一〇二七
里見二郎.....一八一
里見越前守.....一八一
里見修理亮.....一三三、七
里見義成.....八七、八八、九三、九三、九七、九八、一〇〇
一〇一、一〇三、一〇五、一〇六、一〇六
里見義胤.....三六三
里見小太郎.....一〇三

里見義繼……………二六、二八、三五
 里見氏繼……………二六
 里見氏義……………二九
 里見時成……………一六五、一八六、一九二、一九四
 里見時義……………八二、八二、八二
 里見土用鶴丸……………三七四、四三六
 里見伊賀守……………四〇五、八〇〇
 里見式部大輔義俊……………三七四
 里見大膳亮義益……………四〇五、六四三、六四三、七三七
 里見輔阿闍梨重慶……………四〇五
 里見十郎……………一八五
 里見兵庫助善長……………七三七
 里見民部少輔義宗……………一〇四三
 里見彦七……………一〇五四、一〇五七
 里見修里亮……………一三三七
 佐貫庄……………一九三、一九七、一〇七、一三三
 佐貫駿河前司師綱……………一三三
 佐野秀綱……………一三三、一四四
 佐野山ノ職……………四三六、四三三、四三七
 鯖江……………八五九
 鯖江宿……………七五五、九九五
 三郎兵衛尉氏信……………二〇五
 沙彌道胤……………一四三
 猿子出雲守……………一〇七一
 藏王堂……………一〇三八、一三四、一五〇、一五八

山徒ノ大名……………七四四
 三寶寺城……………一九三、一九五
 三木一草……………七〇三

慈園……………一四、二〇〇、二三四、三三八、三六八
 敷地(人名)……………六九四、八三六、九〇七
 敷地伊豆守……………八三三
 鹿田郷(新田庄)……………一三五、一三七、一四四
 志久見山(河)……………二八、九七六、九九三
 式部卿親王……………六五五、八〇三、〇七八
 滋野八郎……………一一一
 滋野一族……………一一一、二二四
 慈光寺推鐘……………一三六
 四條隆資……………五七〇、五九一、六四一、六九八、七五八、八七六、九五二
 一〇〇一、一〇三八、一一五、一一三〇
 四條有資……………一〇一五、一〇一八
 四條隆邦……………六八一
 四條中將隆光……………六〇一
 獅子丸(船)……………七五八
 時家……………九二、九二二
 尖道孫七……………一七〇
 七條辭房……………四六六
 信濃宮……………一三三
 志那濱(渡)……………五〇三、七二七、七四四

篠岸……………六四七
 篠塚(新田氏)……………二九六、四一八、四四九、五一、六六一、一〇九七
 篠塚伊賀守……………四四三、一〇三五、一〇三六、一〇四七
 篠塚五郎左衛門……………八六〇
 篠塚伊賀局……………一〇四三、一〇四七
 信夫……………一三八四、一三〇
 篠村……………二五四、五三五、五三八
 斯波家長……………八四一
 斯波家兼……………八六六
 志和三郎……………八四五
 慈悲寺別當職……………一〇二七
 澁江郷……………一五九、一三三八
 澁川義季……………三七七
 鹽田島……………一〇四八
 鹽田聖遠……………三三四、四三六
 湖江山……………九五四
 鹽田道祐……………三三三
 鹽津海津……………七六一
 四保城……………一三八四
 島津(人々)……………五四一、六四九、七九七、七九七、八〇七、八二五
 八三三、八六四、九五二、一八四
 島崎城……………四九八、二二〇
 下河邊……………二六六
 下總親胤……………一〇三、一〇七
 下山出羽守……………一三八

將軍澤郷……………一九六
 聖殿菴……………一九九
 鼎王……………五三一
 周叟妙松……………一六三
 修禪寺城……………一〇五
 秀光元挺……………二二、二二八
 淨阿……………一九一
 淨院……………一六七、八四、三二、一三四、三三八、三六八
 聖一國師(圓覺)……………二六、二九、一〇〇、一一、一三六、一四九
 一八九、三七三、一〇元、一一八
 正興庵……………二二七
 少將局……………一六六
 成願坊阿闍梨堯全……………四八三、七四五
 成相寺城……………八三八
 性仙房……………二〇〇
 正傳庵……………二二、一六〇
 淨道僧都……………一六八
 淨智……………三四三、三五三
 常如……………一八〇
 少貳(人々)……………一八一、一九六
 少貳頼尙……………四六、五四三、六四七、七三、七三五、
 八五一、九六三、一〇五、一七五、一八〇
 正參……………九九九
 稱名寺……………三七七
 祥龍菴……………一九三

白旗城……………五七、五九、五七三
 白羽湊……………九三
 白河爲氏……………四九
 神子榮尊……………一四、二〇
 深海(月船)……………一八三、一八九、一九九
 神宮寺太郎兵衛正師……………六三
 眞如(尼)……………八八
 進藤孫六左衛門……………一七〇
 進美寺城……………九三九
 新善光寺城……………七九、八六三
 信州大王……………二五三
 神家一族……………一一一、一三三
 宸筆勅書……………八九三
 心地覺心……………一三八

須江郷……………二七三
 菅浦……………一三八
 菅鹽村(新田庄)……………一三三、一八八、三九三
 菅名莊職……………四五六
 杉原下總守……………四〇六、四四一
 州崎……………二七九
 鈴木越後守……………一八一
 州侯河……………六五一、八四九、八五四
 諏訪祝……………一〇八六、一五九

諏訪部(人々)……………一〇八八
 諏訪部信惠……………六六一、六八九、七三六、七九八、八五〇、一〇六〇
 諏訪(人々)……………三〇八、九六四
 周防八郎……………六七四
 周布兼宗……………五九、七三五、七四三
 春原庄……………一六、一三三、一五五、一五九

清新左衛門爲直……………八六三
 征西將軍官……………九五一、二八五、一九七
 清黨……………八五三、一七三
 青龍寺(新田氏)……………九四九、一〇九七
 瀬川……………一三三
 關八郎左衛門尉……………九三三
 關城……………一〇一五、一〇三三
 關戸……………三七、一〇九、一三〇
 關山……………五〇四、七三九
 勢多橋ノ職……………四七、七七
 攝津大宮司入道源雄(昌能)……………八五三
 世良田(新田氏)……………一〇九七、一〇三七
 世良田郷(新田庄)……………七七、四八、一八四、二七九、三三八、
 二六六、三三七
 世良田太郎……………三六六
 世良田遺跡知行……………一三七
 世良田兵庫助……………四〇五

世良田政義……………一三六〇、一三八一
世良田七郎……………一三六七
世良田美作守……………一三六七
世良田大炊助義秋……………一三五七、一三六一、一三六三
世良田有親……………一三五五、一三五七
世良田ノ城……………一三〇五、一三〇六
世良田大膳大夫……………一八五、一八九
世良田義政……………二七六、三三〇、三三五、三三九、三六三
世良田有馬助……………一七〇、一三五
世良田親氏……………一三〇
世良田政親……………一三六〇、一三六〇
世良田滿義……………一三〇四、一三〇九、一三六六
世良田親季……………一〇八三
世良田有京亮……………一〇八五
善昌寺……………一三〇四
千丈(町)原……………一〇八五、一〇八六
千手寺城……………九七五、九七八
千屋左衛門大夫……………一一二
泉涌寺……………七五七
せんさい郷(新田庄)……………一〇九、一一一、一六八、一三三
一三五、一三四六

宗圓……………三六八
宗眞……………九七七
宗太郎左衛門少尉……………六四四
祖元……………一七〇
相馬乙鶴丸……………八一九
相馬龍胤……………一七、一九、一八九
曾我(人々)……………五七、三四、八六、一一二
底倉……………一三五四、一三五七、一三八
關田四郎左衛門……………四〇三
蘭田御厨……………七九、一三八
柚山城……………七六五、七九三、八〇四、八五九、九一三、九九五、九九七
一三三
尊澄法親王……………八〇四、八八、九三三

高倉左衛門佐……………一四八
高倉内親王……………五三六
高倉範貞・範保……………六四三
高木三郎……………八四四
高嶋郷(新田庄)……………一〇、一一、一六八、一三三、一三五
一三四六
高田遠江守忠遠……………一三三五
高田薩摩守義遠……………四〇六、四〇一
高田七郎左衛門……………五一九
高津入道淨源……………四六六
高津城……………九七〇、九八二、九八六
高津長幸……………九四三、九六九、九八六
鷹巢城……………九九五、一〇〇六
高梨(人々)……………六九三、八一九、一一一
高松三郎頼重……………四六五
尊良親王……………七四七、七四八、八〇四、八三〇
高橋……………五〇四
高橋大五郎・大三郎……………一一一
高崎……………一三三七
高林郷(新田庄)……………一五七、一九三、一三三、一三三
高山重徳……………二〇一
高山庄……………一四〇
高山民部大輔……………一八六
高山遠江守義遠……………四〇六、四〇三、四〇五
瀧瀬郷……………一三六

田口信連・重連……………七五八
武田(人々)……………六五三、六八九、七五五、一一二、一一三
武田信長……………一三三三
武田三郎太郎……………一九八
武田信武……………五九、五三三、六八〇、六九一、七三四、七四三、一〇三三
武田甲斐守盛正……………六四三
武田大膳大夫信貞・義昌……………七五七
武田五郎……………七六九
武田與一……………八二二
竹内綱次郎兼幸……………七二一
竹野莊……………九六六、九八〇
竹ノ下……………四三七
竹澤右京亮……………一六五
竹井城……………一〇三五
多古字郷(新田庄)……………六、一〇九、一三三
手越河原ノ職……………四二、四一九、四三三
田島郷(新田庄)……………一〇九、一一一、一六六、二〇〇、二三四七
二二五、二九二、三二四、一三四四
田島小四郎……………五三三
多田源藏人……………九七七、九六三
多々良濱……………四三三、五五六
多田攝津守滿雄……………六四四
多治見國長……………二二五
伊達政宗……………一三七八
伊達貞綱……………三三三

伊達飛騨前司……………四三三
伊達藏人家貞……………七五八
伊達松大丸……………二八三
伊達行朝……………二八〇
伊達宗朝……………二八一
立野城……………一〇三
多却……………一三四
田中(新田氏)……………三六三、三九五、四二二、四九五、九四九、一〇九七
一三〇四、一三三六、一三四一
田中郷(新田庄)……………六、一〇九、一一〇、一四〇、一三六
田中修理亮……………六四三、一一一
田中彈正大(少)弼……………一八五、一八九、二〇九
田中三郎左衛門……………四〇六
田中兵庫助……………一六七
田中殿……………一八七
田中信高……………四三〇
田中知繼……………一三七、一四三、一五二
田中經氏……………一三九
田中丹後守……………一三一
田中民部大輔……………一三六
田貫二郎・右京亮……………一八一
平宗經・惟繼……………六四三
田部賀井郷(新田庄)……………一一、一七八、一三四七

大山寺……………七三三、八三三
田村清包(庄司)……………四三三、一三七三、一八三
垂井宿……………八四九、八五七、一三一、一四三
丹波夜久野合戰……………五八一
子
忠圓僧正……………七五三
中條(人名)……………九〇七
中條伊賀禪門……………三三三
中條入道……………八八六、一一一
知久……………一五九、一三五
千久四郎祐煇……………一三六〇
千種顯經……………一〇八三、一五四
千種忠顯……………四七、六四、六四三、六五九、六九一
竺心……………一三四
千倉莊……………一八、一六九、一五三
竹林院大納言公重……………六四一
千野……………一五九、一三五七
千葉左京大夫……………一八四
千葉介兼胤……………一三六
千葉介貞胤……………三七九、六四三、六五五、六六八、六九五
七四八、七七七、七三三
持明院中條保國……………六四三
長福寺(新田庄)……………一七八

- 長樂寺……………一三三(略)
- 續西宮……………一〇五九
- 土屋(人々)……………一二二、一八四
- 鼓筒……………九六一
- 堤(新田氏)……………九四九、一〇五一
- 堤卿律師……………四〇五、四四〇
- 飯良親王……………三四七、七四七、八〇四、八七三、八七五、九二五
- 津野神主……………九四三
- 都野左近將監保通……………一〇一〇
- 津野新莊岡本城……………一〇三〇
- 津野大庄輔堅者源重……………七七四
- 都野信保……………四一〇
- 津張郡……………二六三、二七二、二七一
- 妻在庄……………二六三、九九三、一九一、一九五、三九五
- 妻高山……………八六七
- 鶴留田郷(新田庄)……………一三三六、三三四
- 教賀……………八九七、九二八、九八七
- 鶴澤源藏人……………一〇〇〇
- 鶴澤(新田庄)……………一〇〇一
- テ
- 手賀……………一八、一五九、二七三、三三九
- 勅使河原丹三郎(丹七郎)……………四九五、一〇九七
- 手墓村……………一五九、二二六、三三九
- 寺井郷(新田庄)……………一〇四四、一〇五一、一三三、三三六
- 寺尾城(館)……………八四、八八、一〇八一
- 寺泊……………九八九
- 天真和尚……………一三六
- 天王寺合戦……………八六四
- 天龍川美談……………四三〇
- ト
- 土井左近將監……………六四四
- 土井得能……………五四九、五五〇、六三四、六五八、六六二、六六三
- 桃源勤禪師……………三三八、一九九
- 道阿……………一九一
- 洞院(人々)……………四九七、六四一、六四二、七五七
- 洞院實世……………四三三、四六三、五二一、六四一、七〇五、七四七、七五三
- 藤家一揆……………一〇二七
- 東光寺領……………一三三五
- 東條城(量津)……………七三五、八三三
- 道場坊祈覺……………四四一、四七三、四七五、四九七、五二二、五三〇
- 頭辨範國……………七五六
- 湯山左衛門三郎……………九三七
- 徳大寺公清……………六四二
- 土岐阿波守……………八八三
- 土岐藏人太郎……………一〇五〇
- 土岐出羽守頼直……………六四三、七〇三、七五七
- 土岐頼春……………六五一
- 土岐(人々)……………六三三、七〇三、七〇七、七八八、八五五、八八〇
- 二四三
- 所大夫房快麟……………九九九、一〇〇八
- 富樫介……………六九三、七八〇、八八六
- 度賀野又太郎入道……………一〇三九
- 常盤井殿……………三六三
- 得江頼員……………九四〇、九七四、九八三、九八八、一〇四三
- 徳河(新田氏)……………一四〇、一三三
- 徳河(新田庄)……………一五七、一四〇、一七一、一三六
- 徳河三郎義秀……………九三、九四、九五、一〇三
- 徳河次郎……………九三
- 得川彌四郎光季……………二八八
- 徳河義季……………九三、一三三、二二七、二〇六、二二八、二六八
- 得藏……………一三三、二二六
- 得永名……………一五九、三三九
- 得能備中守通益……………六四三
- 土佐岡本城……………一〇二九
- 土佐權守……………九五五
- 豊島河原……………一三三、一八八
- とち御前……………一三三、一八八
- 利根川合戦……………八四〇

- 鳥羽城……………九四〇
- 土肥三郎左衛門……………一〇九、一七〇
- 富來俊行……………一〇三、一〇五
- 富澤(新田庄)……………一四〇
- 友野十郎……………一〇一
- 土用……………一七、一三三
- 土用王御前……………一六八、一八八、三三五
- 豊田城……………九六九、九八二
- 豊田致員……………九七〇
- 土代一丸……………九八四
- 土代鶴丸……………三三三
- 豊原九郎……………一三三
- 豊仁親王……………六四六、六六〇、七三七、七四四
- 豊福原……………九六八、九八〇
- 鳥山(新田氏)……………二六三、二八四、二九五、三〇一、四八三、五〇〇
- 鳥山右近將監……………五三三、五四九、六三三、六四七、九四九、一〇六八、一〇七三、一〇七六
- 鳥山郷(新田庄)……………一五七、一八六、一九三、一九四、一三六
- 二七〇、二九三、三三六
- 鳥山左京亮氏頼……………六四三、八八六
- 鳥山右京亮宗兼・五郎氏綱……………三八一
- 鳥山左近藏人……………一八一
- 鳥山式部大夫……………一三七
- 鳥山修理亮義俊……………四〇五、七五七
- 鳥山次郎利清……………一八五
- 鳥山太郎四郎氏盛……………三八一
- 鳥山孫二郎盛成……………八八
- 鳥渡石柱本城……………九五七、九六三
- 頼宮忠明・忠氏……………六四三、六四四
- 吞嶺……………一三五、三一九
- 十
- 内大臣實能……………七〇、七三
- 長井齋藤別當實永……………八四三
- 長江幸高・行殿……………六四三、六四四
- 長岡源璋……………三八一
- 長尾右衛門……………一三三
- 長尾左衛門尉……………一〇三、一〇六、一〇七、一〇七三
- 長尾新左衛門……………一〇〇〇
- 長尾彈正忠……………一三三、一三五、一三六
- 長尾孫六……………一〇七〇、一〇七三
- 中黒……………三二二、三三九、四三〇、五〇四、五二六、五三七、五三三、五三三
- 五三三、五三三、五三〇、五三〇、六四四、六四七、七三三、七三九、七六六
- 七九七、一〇〇六、一〇一〇、一〇一三、一〇一三
- 長崎孫四郎左衛門尉……………三六五、三六八
- 長崎思元・爲基……………三九六
- 長崎高重……………二六七、二七七、三三三
- 中澤三郎入道……………四六七
- 中島城……………九四〇、九四三
- 中務親王……………七七三
- 長手郷……………一五七、一三六、一三四
- 長門前田浦……………一〇七三
- 中條伊賀禪門……………二二二
- 中院右中將……………九八八
- 中院左中將定平……………六三三、六四一、七〇〇、七五八
- 中院侍從……………一〇三三、一〇七八
- 中院少將定清……………四六八
- 中院具光……………三九〇
- 中野藤内左衛門……………八六〇、九六九、九八〇
- 長濱(人名)……………二九六、三〇六、五二四、六六六、八二一、八四四
- 長濱郷……………一〇六四
- 長濱彈正顯直……………八二一
- 長濱六郎左衛門……………三三三、四四三、四〇六、六三七
- 永用郷……………一五七、一五九、一三九
- 中森郷……………一九三
- 中御門宰相宣明……………六四一
- 名子……………一〇三三
- 名越(人々)……………二四五
- 那須五郎……………七二一
- 那多城……………七八〇
- なかつの郷(新田庄)……………一三四五
- 名波浦大鳥城……………五七〇
- 那波庄……………一〇六七
- 那波庄合戦……………一〇六九、一〇八五
- 那波宗元……………一三六

索引

難波備前守……………四〇六、四四三
 名和太郎判官長生……………六四三
 名和長年……………三四七、三三八、三四七、五〇〇、五九〇、六五〇
 六五三、六六三、六八五、七七三
 名張八郎……………四一八、四四三
 浪合……………一三五、一三七
 行方郡……………一八
 奈良合戦……………八四、八六三
 樽崎四郎兵衛尉……………一三九
 成塚郷(新田庄)……………一一、一三三、一八八、一〇四四、一三九三
 一三四、一三四四、一三四五
 成良親王……………三四四、三四七、三七三、七七三、七七九、八七三、八七六
 九三五
 南海寶洲……………三三八、一九九、一三二四
 南條遠江守宗倫……………六四四、六五五
 男體城……………一三六五
 南部甲斐守爲重・時長……………六四三、七五五、七五八
 南部修理大夫……………一三八一
 南保重貞……………三六六、八〇三、八八、九六四、九九四
 南保土用一丸……………九九四
 南北合一……………一三七一
 二
 新津城……………四六〇
 二階堂(人々)……………五三四、六五三、二九六
 二階堂道藏……………三四五、三四七
 二階堂下野二郎政元……………一〇九六
 二加四郎左衛門尉……………一五三
 若林……………一一〇、一一九、一三〇、一三六
 仁木義長……………七三六、七四一、九〇三、九七六、一〇五五、一九三三
 仁木頼章……………六四三、六六六、六六二、六八七、七八五、八二九、九四三
 一〇三六、一〇五
 仁木義高……………六七四、六八四、七四三
 仁科……………一三三
 仁科掃部助……………一三一
 仁科信濃守氏重……………六四三、六六三、六九三、六九五
 仁科信濃守重貞……………七五六
 仁科兵庫守……………一一一
 西野修理亮・新田氏……………八七、一三九
 西野又五郎入道……………一三八
 西宮濱手……………三四五、六一、六三三
 西谷村(新田庄)……………一一三、一四〇、一三六九
 二條少將爲次……………五三一
 二條大納言師忠……………七五八
 二條爲冬……………四一八、四四七
 二條師基……………六七八、六九四、六九五、七〇五
 低給旨……………四三七、七三三
 ニタ首……………五三三
 ニタニタシゲナ笠驗……………五三三
 新河郷……………一三七、一三四五
 新田足利ノ争……………六三三、七〇六、七七七、七八七、九〇七
 新田……………一〇九九
 新田尼……………一一〇、一一五、一六六
 新田安養院別當……………一三三
 新田家時……………一九六
 新田一族……………三四六、四八三、五〇一、五〇四、五〇五、五七九、六三〇
 七〇、七五三、七八六、八〇〇、八〇九、八二五、八八六、九〇七、九一一
 九三六、九四九、九九三、一〇九七、一一六、一八四、一八五、一八九
 二〇六、二九七、三〇八、三六六、一三〇七
 新田井ノ堰……………八二四
 新田右衛門佐祇候人……………四五四
 新田右馬助……………九九三
 新田江田……………五九八、一四四九
 新田江田行義……………三三七、五八八、八三四、一〇六三、一〇六八
 一〇六
 新田越後守貞方……………一八〇、一八二、一八三、一八八
 一八九
 新田大島謙岐前司義政……………三六四、一〇六七、一〇六九
 一〇七
 新田大島義高……………一九三、一〇一、一三三、一三七、一三〇
 新田大島義雅……………一九九、一三九
 新田大島兵庫頭……………五五四
 新田大館氏明……………一〇三三
 新田大館殿……………一〇三三
 新田覺義……………一〇四四、一〇四四

新田金野……………一〇六三
 新田金谷經氏……………七三三、七三三、八三三、九〇三、九六六、九六一
 九六三、九六四、一〇〇四、一〇六三、一一三六
 新田掃部助長氏……………七三九、七三九
 新田刑部少輔……………一三五〇
 新田刑部少輔(貞方カ)……………一三三、一三九、一三九
 新田金吾……………五七九
 新田藏人七郎氏義……………一三九
 新田小三郎義一……………一三六〇
 新田御本意……………一三六
 新田相模守(貞方カ)……………一三七
 新田相模守義則……………一三五〇、一三七三
 新田相模守行啓……………一三五〇、一三七九
 新田相模守義隆……………一三五六、一三八一
 新田左馬權守貞義……………一三五四、一五八九
 新田貞貞……………一〇四三
 新田貞方……………一三八〇、一三九七
 新田貞政……………一五八八
 新田里見義宗……………一〇四一
 新田里見義俊……………一三七三
 新田左馬助義氏……………一五〇、一五七、一六七、一六八、一七三、一七六
 一七三、一七三、一六九、一六九、一〇九、一〇三
 新田左馬亮經政……………一六六、一五七
 新田三郎……………一三四
 新田十六騎……………一四一、一四八
 新田治部少輔直國……………一三九
 新田治部大輔……………一三五
 新田治部大輔(貞方カ)……………一三六
 新田下野守頼春……………一三〇八
 新田下野五郎……………一三〇三
 新田下野太郎……………一三八、一三〇九
 新田次郎……………八五
 新田次郎(大高宗氏)……………一四六
 仁田次郎太郎……………一三三
 新田四郎義一……………一三〇五、一三〇八、一三二八
 新田四郎(義家)……………一三七九
 新田次郎義季……………一三三、一三七、一四四、一三四
 新田世良田滿義……………一三三、一三〇、一三八、一四〇、一三四
 一三三
 新田宗覺……………一三三
 新田大善亮……………一九三
 新田大明神……………一三七
 新田伊達小次郎……………一〇五〇
 新田田中……………一〇四四
 新田經政……………一八九
 新田遠江禪師……………一三八、九〇三、九〇三、九〇三、一〇三三
 新田遠江彦五郎直明……………一三三
 新田遠江彦五郎入道妙西……………一〇七、一三七、一三三
 新田遠江又五郎經政……………一三七、一六一、一七一
 新田德壽丸……………一四一、一四八
 新田殿ノ御教書……………一五三、一五七、一五七、一七七
 新田朝氏……………一〇八、一〇八、一〇八
 新田朝兼……………一〇八、一〇八、一〇八
 新田鳥山右近將監頼仲……………一〇五一、一〇三三、一〇三八
 新田并岩松餘頼……………一三三
 新田入道……………一三九
 新田ノ子息……………一〇四三
 新田庄年貢……………一三〇
 新田館……………九九
 新田教氏……………一八五、一九三、一九六
 新田羽河越中守……………一三八
 仁田彦四郎……………一〇六〇
 新田堀口貞政……………一三八、一三七、一五八九
 新田堀口貞滿……………一四八
 新田孫五郎……………一六一
 新田孫太郎貞義……………一三一
 新田政氏……………一五一
 新田政義……………一三三、一三三、一三四
 新田源三郎直國……………一三〇
 新田三河孫太郎……………一三〇
 新田武藏守(貞方カ)……………一三九
 新田基氏……………一三三
 新田桃井……………一三三
 新田矢島次郎……………一三三
 新田義興……………一四一、一四八、一四八、一四八、一四八、一四八

新田義助ノ稱號(歸屋ノ項) 六三四、七六六、七九六、一〇三三、一〇五五、一一一五
 右衛門佐 三三八、四六六、五三三
 刑部卿 一〇三七
 治部大輔 三三八、四〇〇
 兵部少輔 三三八
 兵庫助 一〇三八
 新田世良田義政 一三三〇、一三三三
 新田義宗 八三三、八三三、九六四、九七六、九九四、九九九、一〇八四
 一三三三、一三三〇、一四九一、一六四一、一七三二、一九四九、一〇〇一
 一三三三、一三三五、一三五〇、一三〇七
 新田與同仁 四五四、四七〇、五三二、五五五、五五六、五六三
 五九七、七七三
 新田頼氏 一三五、一三七、一三三、一三六、一三七、一三八、一四三
 一四四、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五三
 一五三、一五五、一五六、一六六、一六七、一八四、二〇四、二二一、二二九
 二四七、二二四、二二八
 新田頼親 二二五、二二七、二二四
 新田六郎 一三〇七
 新田頼有 一三二、一三七、一五九、三〇七、三〇六、三〇八
 新田脇屋 七二六、七九四、一〇二五
 新田脇屋義治 (歸屋ノ項) 八八二、八八三
 新田綿打 八八二、八八三
 新田綿打入道 九五四、九六一、一〇一九、一〇五七
 新田綿打又太郎政光 一〇四三
 二引兩 三三九、四四四、五五三、五九三、六〇三、六四四、六二七

根尾城 一〇〇一、一〇〇五
 根尾入道 九五〇
 根尾山城 八四八、八五三
 根尾徳山 八五三
 ねをい御前 一六五、一八七、一九五
 彌津孫次郎 九七七、九三三、九六六、一三二
 彌津修理亮 一一一

丹生寺城 六三四、七六六、七九六、一〇三三、一〇五五、一一一五
 丹生寺城陥落 八三三
 丹生郷 一五八、一〇七、一三八、一三三
 如法寺左藤 一〇五三
 如法寺孫次郎入道圓康 一〇五〇

又
 拔鋒社 七〇、三四四
 糴田郷 一〇九、一五九、一三九
 沼垂合戦 四五六
 沼田次郎 六五五
 沼田三郎左衛門尉 八八九
 沼田庄 二六三、二三七

ネ

根津小次郎 一一二
 彌津越中守 九五〇
 念空 一六五、一八六、一九九、一九九、一三三八

野登 一八、一六八
 野毛崎村 一七、一五九、一三九
 野路原 七四
 能登野合戦 七四〇
 野鞍 六〇〇
 義良親王 三三三、三三〇、五五六、八二九、八六三、九三三、九三〇
 則光西方城 七二二

八
 伯耆四郎左衛門尉 四九一
 伯耆次郎判官義高 七五八
 伯耆中務丞 四九三
 伯耆朝保 三三四
 法輝 八四八、九六三、一三二七
 法性寺左兵衛督 一三〇
 法性寺中將 一四八
 法照禪師 一四〇
 法松 一三三、一三三
 法清 一八〇
 法幢卷 一〇三九

坊門宰相清忠 六四一、七五〇
 芳賀入道禪可 八四五、八五三、八五五、一〇八八、一三二七
 芳賀伊賀守貞經 一〇六九、一〇七二、一〇八五
 芳賀肥後守 一〇七一
 羽川(新田氏) 二六三、二八四、二九五、三〇九、三〇九、三〇九
 羽川越中守時房 四〇五
 羽川備中守 四〇五
 羽河景庸・景國 二六〇
 莫彌次郎太郎入道 七九四
 白雲惠崇 二二三、三三六
 白鹿ノ年號 九八八
 箱根水呑戦 四三五
 橋本八郎正員 六三三
 走湯山 一〇三三、一三三
 榎谷城 九五一
 畑六郎左衛門尉時能 五二二、五八五、八三五、九一三
 九六五、九六六、九六七、九七八、九八三、九九五、一〇〇六
 畑城 九七八、九八二
 畑(人名) 二九六、八三六
 波多野三郎 四〇六
 波多岐庄 一九三、一九四
 畠山國清(道譽) 七四三、七四五、一三三、一四七、一六四
 二九三、三〇三、三三〇
 畠山丹波守 一〇六六
 畠山(人々) 三三八、四七六、一六三、一六六、一八三、三〇一

八王寺城 九八四、九九四
 八馬村 一九三
 八幡山 五〇〇、五〇三、六四六、九九九、七〇三、七三三、八四三
 八六九、一三三三、一三〇、一三六
 波津崎 一〇〇一
 花香塚 二一九、一三八、一三四六
 羽田城(能登) 一〇五七
 波々伯部次郎左衛門尉 四六七、八二七
 祝人郷(新田郷) 七八
 濱田郷(新田庄) 二三四、二九二、三三四、一三四四
 葉室中納言長光 六四一
 林次郎入道源琳 八〇一
 原田大藏大輔秋規 六四四
 針原久兼 四一〇
 幡磨守護職恩補 四九〇、五九九、五七四
 榛名忠尊 一〇八
 饒阿寺系圖 一三〇

七
 匹他九郎 四六九
 肥後泰親 一八四
 ひしかしまの郷 一三四六
 備前目代少納言範猷 五八五
 常陸親王 一〇五八、一〇六〇
 常陸牛久郷 一三六

秀泰郷……………一五九、一三八
 人見原……………一〇八五
 日野資朝・俊基……………二二五
 日野資明……………六四三
 日野邦光……………九九九、九八六
 日吉加賀法眼……………七〇〇
 平方原……………一八八
 平賀(人々)……………六五三、六九
 平塚郷(新田庄)……………七七、三九、一三〇、一三七
 平葦城……………九七三、九七七
 廣澤五郎……………一〇三三
 廣澤四郎五郎通實……………一五三
 廣峯昌俊(貞長)……………四一、六〇九、六五四、七六
 備後石成城……………一〇六〇
 備後尾道城……………一〇六一
 備後藤原殿……………一〇六五
 深町(人名)……………六九四、八三六、九〇七、九五〇、九六六
 深見……………一九三、一九四
 深堀(人々)……………八〇八、八三九、一〇三五
 深江孫次郎棟長……………九六〇、九六三
 藤野寺城……………九四一、九五三
 福井(居)庄……………三五四、八三三
 袋井繩手……………七七

7

福田庄三草山合戦……………八八四
 福山城戦……………四六六
 福屋彌太郎……………一〇〇、一〇二
 福屋城……………一〇〇九
 普光庵……………三〇三、三二七、三三九、二四二、三九八
 藤王丸……………三〇五
 藤木村……………一四〇
 藤心……………一八、一五九、一八八、一三三、一三九、一四六
 藤澤清浄光寺……………一三七
 藤崎四郎……………一三一
 藤島庄燈明寺暖……………九〇三
 藤島城……………九〇八
 藤田三郎左衛門……………四〇六、四四一
 藤田六郎左衛門……………四四一
 藤田四郎左衛門……………四四三
 藤田右近五郎・又四郎・十郎三郎……………二八〇
 藤原藤房……………三六三、九九五
 藤原基遠……………一〇四五
 藤原正雄……………九三九
 藤原教基……………六九、一〇七
 藤原實能……………七〇、七三
 藤原基實……………七三、七四
 藤原妙蓮……………二二、三六五、八九
 藤原土用王御前……………一八八
 布施……………一八、一九九、一三九

豐前清瀧村……………一〇七五、一〇七六
 二兒墓郷(新田庄)……………一一、一三五、一三四四
 二峯城……………九九〇
 二岡城……………九三三
 淵名庄……………一〇七、一〇七、一〇八三、一〇八五、一三九
 佛饗禪師……………二六
 船田(人名)……………五二四、九〇七
 船田長門守經政……………四六、五三、七二、六三、八三
 八六、八七
 船田政綱……………三〇八、二〇
 船田義昌……………三〇八、三〇四、三〇六、四〇三、四〇八、四五一
 五〇四、五〇五、五〇九
 普門利(俊)清……………四〇〇、四〇六、八六六、一〇四四
 文昌……………一〇七六
 分倍川原城……………三三〇
 平六安定……………二二〇
 部井十郎……………八四四
 別宮山城……………九三六
 別所村(新田庄由良郷内)……………二九三
 兵庫……………五〇五、六一、六三八
 平泉寺……………六六九、八三六、九〇五、一〇〇六
 辨圓……………一九、二二、二五、一八三

木

寶光院……………一三六
 北條政子……………九八、一〇三、一〇七
 北條高時……………二八九
 北條仲時……………二六六
 北條益時……………三五四
 北條時行……………七七、三二、三六九、八三八、八四四、九六四、
 一〇九、一〇九、一〇九
 北條邦時……………三三
 北條泰家……………二五六、二七〇、三〇九、三一一、三三三
 坊城中納言經顯……………六四一
 某宮將軍……………一〇三、一〇三、一七八
 坊門少將正忠……………六五五、六五九
 坊門實治……………六四三
 牧翁了……………三〇三、二八、三二
 星野大藏大輔永能……………六四四
 細川(人々)……………三三八、三三三、三六四、五〇三、六五二、六六二
 六八七、六八九、七三〇、七三三、七八五、八四三、八五七、八七八
 八八一、九〇、一〇二、一〇三、一〇三、一〇三、一〇三、一〇三
 一〇三、一〇三、一〇三
 細川定禪……………四三〇、四六五、四七四、四八七、六三九、六三三
 六四七、六四九、六八七、九五四、九六一、九八
 細川出羽守……………八五九、八七八、九〇九、九六七
 細川鹿草……………八六〇

細川頼有……………一三三
 細川頼之……………一〇七
 細谷村(新田庄)……………一三三
 細屋(人名)……………九〇七
 洞嶺合戦……………八六八
 堀河光繼……………五二、六四三、六八三、七五八
 堀口(新田氏)……………二六五、二九六、四七、五〇〇、六六三、九四九
 一〇九、一三三
 堀口大炊介……………四三
 堀口郷(新田庄)……………九、一〇、一一、一三、一五、一七、一八、
 一三三
 堀口行義……………三六三
 堀口右馬之介……………五九
 堀口左馬頭貞義……………六四三
 堀口美濃守貞滿……………三三三、三三三、四〇五、四九五、五二六
 五三三、六四三、七五三、七五七、八五三、八五八、一四三
 堀口民部大輔貞政……………三六八、三八四、三六六、四五六、四六八
 五七、六四三、七五八
 堀口兵部大輔氏政……………九六六
 堀口近江守……………一一一
 堀口兵庫助……………一一一
 堀口三郎……………一一一
 堀口貞祐……………一一一
 堀口四郎……………一一一
 本間孫四郎重氏(資氏)……………六三三、六六四、七六六、七九〇

牧田彌九郎光政……………五三七
 眞木定親……………九三
 牧宮……………九三
 松浦肥前守昌重……………七七
 松浦肥前守守定……………六四三
 松浦運賢……………四〇九
 松倉城……………一三三
 松崎城……………九七三
 松田十郎盛朝……………四六六
 松田城……………一三三
 松田與市……………一七〇
 松田能宣……………一七三
 松田能宣……………一七三
 松鼻城……………九七七
 松原八幡宮……………三七一
 萬里小路宣房……………六四、七五六
 舞木(人々)……………一三六、一三八、一三五
 馬岳城……………三二五
 馬淵……………三三三
 前田浦……………一〇七
 摩耶城……………五三八、五四四、五四六、五五三
 丸山城……………七七四
 丸竹(國邊)山陣……………九七〇、九七一、九七三
 万吉郷……………二六、三三、三五、五九、六八、一三三、一三三、
 一三三

マ

三井寺……………五〇四
 三浦(人々)……………五〇五、五〇六、六四九、六八八、一〇八四、一五〇
 三浦高道……………一〇九六、一二三三
 三浦時繼……………三三三、三三八、三八七
 三浦高繼……………三八六、五八八、八三七
 瓶尻十郎……………一一一
 三河次郎入道……………一八五
 三尾崎關……………六七八
 三尾谷遠江前司入道道深……………六四三
 三木俊連・行俊・貞俊……………三九一
 三國淡千手寺城……………九三三
 御子左爲定……………六四一、七五六
 御子左爲次……………六四三、七五七
 三剛入道信性……………九四九、九六九、九七一、九八七、一〇三三
 三田城……………九五一
 三石城……………四六六、五七八、五九八、五九九、六七一
 三木村(新田庄)……………七七、一三九、一三七
 水野致秋……………一〇九一、一〇九二、一三九、一三三〇、一三三三
 水呑峠……………四三三、四三七、六四七、六五九、六六一、六七二
 湊河城……………五四〇、六一、六三九、八八四、八八五、九三三、九六三
 南瀬口六郎……………一七〇
 南江守城……………九四一、九五四

南宗直・宗繼……………一〇九、二二八、二二二
 源具光……………六四三
 源親光……………六四三
 源賴行……………三〇五
 源爲經……………三六八
 源清重……………一六三
 源義家……………六九
 源常家……………一六三
 源富村……………一六一
 源成經……………一九八、三六八
 源義國……………七〇
 源頼朝……………八四、八七、九〇、九九(他略)
 源頼家……………一〇七
 源輔村……………一七七、一九三、三三八
 宮盛重……………一〇六五
 宮平太郎……………一〇三三、一〇六六
 妙法院高因幡全村……………五三〇
 妙法院宮(宗良親王)……………七五八、八三七、九三三、九五一、一〇五八
 一五九
 妙全(義貞子息)……………一三四
 妙運……………三二、八三、八三一
 妙阿……………三〇四、三〇八、三三三
 宮田不動尊……………一三九
 三宅三郎高德……………一〇三七
 三好覺辨……………一〇五九、一二八、一三五、一五一

三輪知家……………一五九
 無關普門……………一九
 武藏國府……………一〇四一
 武藏本田陣……………一三四二
 無住……………一四四、一八三
 武者所……………三三〇、三五八、五八八
 夢窓國師疎石……………三〇三、八二六
 宗良親王……………八四〇、九三〇、九三三、九七六、九九九、一〇三三
 一〇五六、一〇八〇、一〇八四、一五二、一五四、一五八、一一五九
 三三一
 村岡三郎……………一二一
 村上房義……………七八三
 村上信貞……………七八三、四六三
 村山隆義……………三五九、四八四、五八五
 村山信義……………一〇七八
 村山(人々)……………一一三、一五一、一五七
 村田(新田氏)……………一三四一
 村田郷(新田庄)……………一〇九、一一二、一三三、一四〇、一三九
 一一九、一三三、一三四
 村田頼兼……………一六一
 村田遠江太郎頼氏……………一六〇
 村岡……………三三九
 室町中將實郷……………六四三

室山ノ職……………五七一
 明寅長老……………一六八
 明光宮……………八〇四
 明通寺……………八七六
 明阿……………一六一
 めうほうじとの(宗良親王)……………一〇五八
 毛
 毛利右近大夫貞親……………六九〇
 毛利元春……………六九〇
 毛利親衛……………六九一
 毛利時親……………六九一
 茂木(人々)……………七七五、八四三
 門司……………一〇七、一〇七、一三三
 求塚……………六三三
 桃井(人々)……………二六五、二八四、二九五、三〇〇、三〇一、四一七、四八三
 三五四、六五六、九〇七、九四九、一三五四、一三〇九
 桃井尙義……………二六三
 桃井遠江守……………四〇五
 桃井修理亮義盛……………五三三、六五三、六九〇、一〇三三
 桃井兵庫助顯氏……………六四三
 桃井駿河守義繁……………七五七
 桃井左京進敏祐……………七五八

桃井播磨守直常……………八四五、八五二、八五五、八五九、八六六
 一〇六九、一〇七二、一一六、一一三、一一五、一三四
 桃井長門守親述……………八七六
 桃井直信……………九三八、一〇五三、一〇五六
 桃井義綱……………一〇五三
 桃井宗敬……………一〇六〇
 桃井右京亮……………一八一
 桃井治部大輔……………一八二
 桃井和泉守……………一八二
 桃井宗綱……………一三〇
 桃井下野守……………一三〇
 桃井刑部大輔……………一三七
 桃井左京亮……………一三八
 護良親王……………三四四、三四七、三五〇、三四一、三三八、三六三
 三七七、九四四
 ヤ
 八木沼……………七八、三〇八、三二〇、三三三、一〇七八、一三三〇、二六九
 一七〇、一三三七
 薬師寺(人々)……………三三〇、一〇四〇、一〇四一、一〇四二、一〇八八
 薬師丸……………五三九
 谷口……………一〇八九
 矢口渡……………二六三、二七〇、二七五、二七六
 矢倉三郎……………二二一
 屋澤八郎……………二二一

屋代庄……………一〇四九
 矢島村(新田庄)……………一九九
 矢島一族……………二一九
 矢島次郎(新田氏)……………二八二
 矢島七郎……………七六七、八三三
 安富深江民部丞泰重……………六九三
 安村別府……………一三三三
 矢田部坂合戦……………七四〇
 家中郷……………一五九、一三三九
 柳宮(新田庄)……………一四一
 矢野城……………四三三
 矢矧川……………四一〇
 篠塚(新田氏)……………一〇九七
 篠塚郷(新田庄)……………一一〇、一一一、一三六、一三七、一三四四
 矢部……………二九六
 矢部孫三郎……………八三三
 矢部六郎左衛門尉……………八三三
 山上(地名)……………九〇、一六八、一三三七
 山上(人名)……………三七四、一〇六九、一〇八五
 山上六郎左衛門……………四〇六、四四三
 山上七郎五郎……………二八三
 山内(人々)……………六四九、七三三、一〇六六、一五五、一五六
 山内土用鶴丸……………四三六
 山内備後守俊明……………七五七
 山内通繼……………三三三、四三六、四七六

山岸... 六九四、八三六、九〇七
山岸新左衛門... 八三五、九〇七
山口三郎... 八五〇
山崎... 四八七、六九二、一五六
山田丹生寺城... 八三三、八三三、九四四、九五二、九五六、九五七
山田莊... 七三三
大和六郎左衛門尉... 六五三
山名(地名)... 八七
山名(新田氏)... 二六五、二八四、二九五、三〇一、四一七、四三〇
四八二、九〇七、九四九、一三三三
山名因幡守... 一八五、一九〇
山名氏清... 一三六
山名小二郎入道... 四四六
山名兵庫助(伊豆守)忠家... 六四三、七五七
山名俊行... 一三八、一四三、一四五、一九七
山名政氏... 四四六
山名義俊... 一九七
山名盛康... 一九六
山名行忠... 一四八
山名義範... 八六、九〇、九三、九五、九六、九七、九八、一〇〇
一〇一、一〇三、一〇五、一〇七
山名俊長... 一四八
山名行直... 一三八、一四三、一四五、一四六、一五三
山名重國... 九一、九二、九五、九六、一〇三
山名近江守兼義... 三六三

山名時氏... 八七、四三三、四六八、六八八、七三三、一〇三六、一〇三七
一〇六、一四三、一五五、一四三
山本莊... 八三三
山本雅樂助義右... 六四四

湯淺宗顯... 三三三
結城大藏少輔... 七五六、八五〇、一〇四八
結城親朝... 八四〇、九四六、一〇八四
結城親光... 四七、四九七
結城上野介... 八六〇、九〇
結城一黨... 五九五
結城宗廣... 三三六、三三〇、三五三、七九、三八八、三三〇、四九
三七一、七四一、八三三、八五五、八六六、九三〇、九四六、一三三六
湯河庄司... 六四四
由良(人名)... 三九六、三六六、四一五、四六二、八二一、八四
九〇七、二九三
由良(新田氏)... 一〇四四、一三三〇、一九三、一九三、一九九
一三三、一三五、一三五
由良三郎左衛門尉... 四〇六、五〇九
由良上總介... 一三三
由良美作守... 四〇六
由良兵庫助... 一七〇、一三五
由良景長妻紀氏... 一〇四四、一〇八、一三〇、一三三、一三四
一三一、一三三、一三四、一三九

由良左衛門尉... 五〇四
由良越前守光氏... 七六六、九六六
由良右衛門大夫... 一〇〇五
由良新左衛門(信阿)... 一三五、一八八、八二一、八二四
一七〇、一〇八、一〇九五

容辻王丸... 一三五、一三三、一三四
橫溝八郎行宣... 三七六
橫瀨(新田氏)... 一五七、一三四六
橫瀨孫五郎... 九三三
橫瀨相模守... 一三三
吉江... 一三四
吉水法印宗信... 七八一、九四八
義貞跡... 一〇七五
義貞ノ娘... 九三三
義貞ノ左右將軍... 四一七
義貞ノ追善料所... 九四四、一三三九、一三六九
義貞ノ北臺... 三〇六
義貞ノ好ム戰法... 一五六
義貞ノ鋳薄金... 一三五、一三五、一三七
義貞ノ侍所... 一八六、一三七
義貞ノ願文... 一三五
義季見阿... 一〇三

吉田中納言光繼... 六四三
吉田定房... 四九四、六四一、七五六
吉野郷... 一八八
吉野朝年號ノ板碑... 一九一
吉見參河三郎氏頼... 六四九
吉見頼隆... 六四九、九八二、九九〇、九九四、九九五
米澤郷(新田氏)... 一一一、二六、二九三

頼阿... 一四一
頼印僧正... 二〇八、二二八
頼有... 六八二、七三三
頼有... TOKI、一五二、一五三、一五三、一五五
(岩松頼有ノ項)
來玉御前... 七六、七七

靈雲菴... 一〇〇
理教坊律師快秀... 七二七、七四五
隆圓... 一三三
滝興庵... 一〇五三
了見... 一九七、二二九
了休... 一〇四四、一〇四七
了紀... 一九三
眞覺... 一三〇八

了宗... 一三三
了哲... 一七九、二六九
了觀... 一三三、二二九
了愚... 三三八、三三二、一三八
良中... 一四〇
楞嚴經印板... 一三三
冷泉宰相具行... 七七一
靈山... 二七九、七九一、八二九、八三二、一三八、一八四
靈山寺峯... 二八九

朗譽... 一三八、一三九、一三〇、一四四、一四九
六波羅... 六八一
六角峯... 一五七

若槻(人々)... 八五一、一〇六一
若狹又太郎... 六三八
若林九郎入道... 一三八
脇谷村(新田氏)... 一三九
脇屋義助... 三三七、三六〇、四四四、四八七、五五九、五七五
五七八、五八四、五八七、五九八、六〇四、六二九、六三三、
六四三、六四七、六六三、七〇五、七四三、七四七、七五七、

七三二、七三五、七六八、八二〇、八三五、八七九、八八四、八九二、
九四九、九六四、九七五、一〇〇一、一〇一四、一〇三八
脇屋義治... 四〇五、四四四、六四三、七五七、七九三、七九六、八〇三
九四九、一〇三六、一〇三九、一〇八三、一一三、一一四九、一五〇
一一八、一〇一、一三三
和氣宿... 四六六
和久城... 八三九、九四三
和倉孫四郎... 九五五
和佐千鶴丸... 六八一
和佐宰相房演秀... 六八一
互理新左衛門... 五三三、七九一
綿貫五郎左衛門... 六六四
綿打(新田氏)... 八八一、八三二、一三四一
綿打郷(新田氏)... 一〇九、一三七、一三四六
綿打政光... 一〇四三
綿打大炊助... 一八八
綿打太郎氏義... 八一八
綿打刑部少輔... 四〇五
綿打九郎... 一三三七
綿打入道... 九五四、九六一、一〇三九、一〇五八
和田(人々)... 九〇、三四〇、三四三、三四七、三六八、三七五、六九〇
七七四、七三三、一〇三一、一〇八三、一三三四、一四九九
二五四、一五七、一九〇
和田五郎正隆... 六三三
和田左近將監助康... 四七八

和田岬……………六一
和田宮内少輔……………一〇三
和田和泉守……………九五〇
(註) 字訓不明ノモノ多ケレド、之ヲ隨意
何レカノ假名ノ下ニ配置セリ。

新田
係氏
花
押
集

(1) 香賀
にたのあま(一二六) 頁

(2) 榮
・朝(一二九)

(3) (岩松)
源時兼(一三四)

(6) (徳川)
源頼有(一五八)

(5) 覺智(時兼)(一五五)

(4) 源時兼(一三五)

(7) 院
豪(一六〇)

(10) 院
豪(一八五)

(8) 源時成(一六六)
(里見)



(11) 源時成(一八八)



(9) 道覺(一七〇)
(岩松經兼)



(12) 源成經(一九八)



(13) 大圓(二〇〇)



(17) 船田政綱(二〇八)



(18) 源朝兼(二〇九)
(新田)



(14) 源賴行(二〇五)



(15) 沙彌覺義(同)



(16) 尼妙阿(同)



(19) 妙實(三二〇)
(船田政綱)



(20) 源光(同)
(新田朝兼)



(21) 崇喜(二二二)



(22) 源義氏(二二六)



(23) 源重廣(同)



(24) 牧翁了(二二七)



(25) 平六定安(三三〇)



(26) 某(三三一)



(27) 了重(三三一)



(28) 源滿義(三三九)
(世良田)



(33) 左兵衛尉(三五九)



(32) 源行義(三三七)
(江田)

元弘三年七月廿日源行義

(29) (某) (義貞下末子) (ス根寫カ) (二七二)



(30) (大館幸氏カ) (二八〇)



(34) 沙彌宗圓 (三六八)



(38) 左衛門尉 (三七二)



(42) (龜口) 民部大輔貞政 (三八四)



(43) 源 (三八五)



(31) (大館氏明) (二八二)



(48) (大館氏明) 源朝臣 (八七二)



(49) (大館氏明) 左京權大夫 (九三八)



(44) (岩松直國) (六七六)



(45) (岩松直國) 頼有 (六八二)



(47) (岩松直國) (八六八)



(47) 補遺
「豫陽河野盛衰記」ニ
コレバ九二四頁所載
鳥生貞實軍忠狀末尾
ニモ承了ノ文字ト本
花押アリ

(46) (金谷カ) 兵庫助經氏 (七七三)



(50) (新田義家) 武藏守 (九六四)



(51) 源義助 (一〇二四)



(35) 左衛門尉 (三六九)



(36) 源 (同)



(37) 沙彌 (同)



(39) (三七二)



(40) (三七三)



(41) (同)

(52) 僧頼宥(一〇六六)
(岩松)



(53) 僧頼宥(一〇六七)



(63) 岩松禪師頼宥(一二六八)

岩松禪師頼宥

(61) 了宗(一二三二)



(62) 源朝臣世良田憲政
(一二四七)

世良田憲政

(64) 國政(一二七三)
(模寫)



(54) 新田義興
(模寫)
一一〇九
三二九二



(55) 左衛門尉秀義(一一六一)



(58) 僧法清
(一一八〇)



(59) 沙彌常如
(同)



(65) 滿親
(一二三〇六)

(66) (某)同



(67) 法泉(一二三三)
(模寫)



(68) 滿長(一二三三)
(模寫)



(56) 源義政(一一七九)
(世良田)



(57) 源義政(一一八〇)

源義政

(60) 沙彌道行(一一八〇)



(69) 持國(一二三七)
(模寫)

(70) 長純(岩松家純)
(模寫) (一二四七)



(71) 源昌純(長樂寺文書)
(史料二頁七文)

源昌純

1911

Blank page with faint horizontal lines and ghosting of text from the reverse side.

1911
Blank page with faint horizontal lines and ghosting of text from the reverse side.

Blank page with faint horizontal lines and ghosting of text from the reverse side.

Blank page with faint horizontal lines and ghosting of text from the reverse side.

昭和十七年三月十日印刷
昭和十七年三月十五日發行

新田義貞公根本史料

非賣品

編纂兼發行者 群馬縣教育會

印刷者 東京市下谷區二長町一番地 山田三郎太

印刷所 東京市下谷區二長町一番地 凸版印刷株式會社

發行所

前橋市曲輪町八一ノ二群馬縣教育會館內
群馬縣教育會
電話前橋二一九四番
振替東京六一七三番

終